取扱説明書

地上デジタルBS/CSフルハイビジョン
40型/50型 液晶テレビ

品番

LCH4005V
LCH5005V

このたびは液晶テレビをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 3
使用上のご注意とお願い 6
主な特長 8

準備

付属品を確認する 9
各部の名称（本体） 10
本体前面 10
本体右側面 11
本体背面 11
本体左側面 11
各部の名称（リモコン） 12
スタンドの取り付け 14
リモコンの準備と使いかた 15
テレビを見る準備をする 16
アンテナを接続する 16
miniB-CAS カードを入れる 18
電源を入れる 18
はじめての設定（チャンネル設定）をする 19
地デジ難視対策衛星放送を受信する場合 20
録画機の準備をする 22
USB ハードディスクを接続する 22
新しい USB ハードディスクを登録する 22
USB ハードディスクの設定をする 23
外部機器を接続する 24
本機に接続できる外部機器について 24
再生機器を接続する 24
オーディオ機器を接続する 26
パソコンを接続する 27
HDMI 連動設定 28
外部入力設定 29
LAN 端子の接続と通信設定 31
アンテナの方向調整と設定 33
地上デジタルアンテナの方向調整 33
BS・110 度 CS アンテナの方向調整 33
BS・110 度 CS アンテナ電源供給 34

基本の操作

テレビを見る 35
リモコンで番組を選ぶ 35
番組表を見る 36
データ放送やラジオ放送を楽しむ 38
接続した機器の映像を見る（入力切換） 39
便利な機能を使う 40
テレビの映像を静止させる 40
画面サイズを変える 40
画面の位置や幅を調整する 40
チャンネル情報を見る 41
音声を切り換える 41
字幕を表示する 41
文字スーパーを表示する 42
降雨対応放送に切り換える 42
テレビを目覚ましに使う 42
自動で電源が切れるようにする 43
録画・予約をする 44
録画機能について 44
見ている番組を録画する 46
番組表から録画予約する 46
連続ドラマなどを繰り返し録画予約する 46
録画する日時を指定して録画予約する 47
録画を中止する 47
予約の確認・取消しをする 48
録画予約に関するお知らせ 48
録画した番組を再生する 50
録画番組を再生する 50
録画した番組を保護する 52
録画した番組を削除する 52

調整と設定

メニュー画面の操作方法 53
映像設定メニュー 54
映像メニュー 54
映像調整 54
音声設定メニュー 56
音声調整 56
バランス 56
光デジタル音声出力 56
設定メニュー 57
お知らせ 57
機能設定 57
CEC 設定 59
初期設定 59

その他

地域別チャンネル表 63
故障かな？と思ったら 65
まず確認してください 65
こんな場合は故障ではありません 65
全般 65
映像 66
音声 67
デジタル放送 67
録画 68
エラーメッセージ一覧 69
デジタル放送 69
LAN 接続 70
録画 71
壁掛けでご使用になるとき 73
スタンドのはずしかた 73
主な仕様 74
保証書とアフターサービス 76
ソフトウェアのライセンス情報 77
ソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文） 78

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全にお使いください。
「取扱説明書」をお読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保存してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	**この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。**
⚠注意	**この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。**

絵表示について

絶対に行わない	絶対に触れない	絶対にぬれた手で触れない
絶対に分解や修理はしない	絶対に浴室やシャワー室では使用しない	絶対に水にぬらさない
必ず電源プラグをコンセントから抜く	必ず指示に従う	高圧注意 （テレビ背面に表示）

家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

1 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3 内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
4 ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きになったりしないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

安全上のご注意

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご相談ください。

高圧注意

分解禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘヤピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

水場での
使用禁止

絶対に水に
ぬらさない

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

交流 100 ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。
電源プラグを交流 100 ボルト（AC100V）の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。
設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

禁止

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠注意

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

禁止

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

指示

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）

プラグをコンセントから抜け

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。
電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

指示

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

指示

乾電池の取り扱いについて

乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- ＋－の指示通りに入れる。
  使い切った電池はすぐに取り出す。種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- しばらく使わないときは取り出しておく。
  電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。液漏れが有った場合は、その液に触れない。

指示　禁止

使用上のご注意とお願い

◆ 輝点・欠点について
液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

◆ お手入れについて
お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
  - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
  - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

◆ 輸送について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

◆ 本機を破棄するとき
本機は家電リサイクル法の対象製品です。一般の廃棄物と一緒にしないでください。

◆ 本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

◆ 室内温度について
液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

◆ バックライトについて
液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。本機のバックライト寿命は約30,000時間です。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。

◆ デジタル放送のコピー制御について

本機には付属の miniB-CAS カードを必ず挿入してください。
デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、miniB-CAS カードの機能を利用します。
挿入されないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
miniB-CAS カードを挿入していただくことで、NHK も、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します）
詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。
コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

主な特長

◆ 地上デジタル BS/CS デジタルチューナー内蔵

デジタル放送では高画質、高音質、多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。
また、電子番組表を使って見たい番組を簡単に選ぶことができます。

◆ 外付け USB ハードディスク対応

別売りの外付け USB ハードディスクを接続して、本機で受信した番組を録画して楽しむことができます。
本機はダブルチューナーを搭載しており、番組視聴しながら裏番組の録画ができます。

◆ オンスクリーン表示

画面を見ながら映像調整、音声調整などを設定できます。

◆ 映像／音声調整

お好みの映像と音声を選ぶことができます。画面の「コントラスト」、「黒レベル」、「バックライト」、「色あい」、「色の濃さ」、「シャープネス」「色温度」をお好みの映像に調整して記憶させることができます。音声も「低音」、「高音」、「バランス」「高音強調」「低音強調」「サラウンド」をお好みの音声に調整することができます。

◆ オンタイマー／オフタイマー

オンタイマー(42ページ)はお好きな時間にお好きなチャンネルで電源をオンすることができます。
オフタイマー(43ページ)はおやすみ前にタイマーをセットしておくと、自動的に電源を消すことができます。(30・60・90・120 分)

◆ HDMI 端子

HDMI 対応の BD/DVD プレーヤーや HDD レコーダーなどの AV 機器と接続して高品質な映像を楽しむことができます。(接続コードは付属していません。)

◆ 画面サイズの切換

映像に合わせて画面サイズをワイド／ズーム／フルに切り換えることができます。

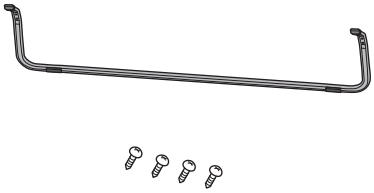
付属品を確認する

ご購入のパッケージ内には、以下のものが含まれています。すべて入っているかご確認ください。

本体

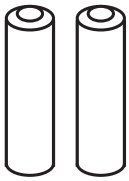
LCH4005V/LCH5005V

スタンドベース



固定用ネジ（4 本）

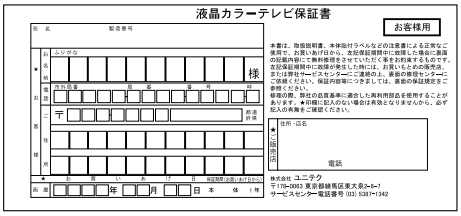
リモコン × 1
単 4 形乾電池（R03）× 2



miniB-CAS カード　× 1

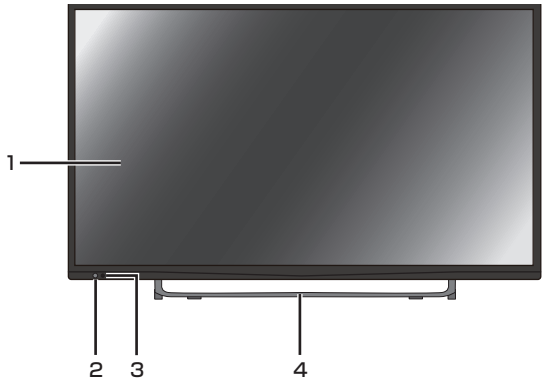
取扱説明書　× 1

保証書　× 1



各部の名称（本体）

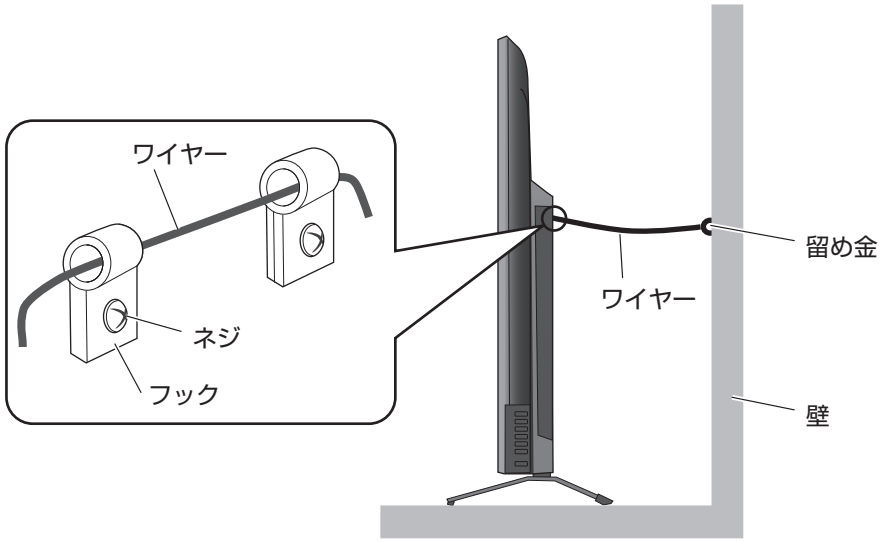
本体前面



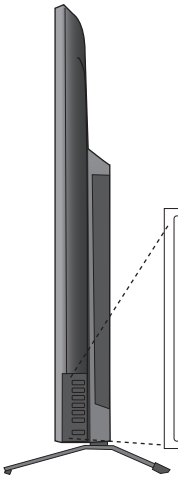
1 液晶画面
2 リモコン受光部
3 電源ランプ
4 スタンド

◆ テレビを固定する

テレビが転倒しないように安全な場所に設置してください。
転倒防止のため壁または柱等を利用して、下記図を参照し固定してください。
テレビを固定させるためのフックは、あらかじめ本体に付いています。
ワイヤー、壁への留め金は同梱していないため、お客様ご自身で準備してください。

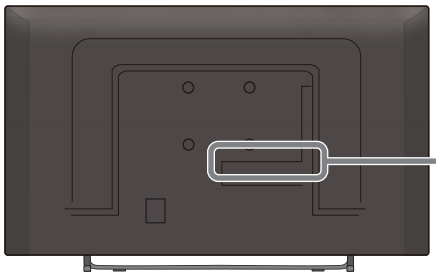


本体右側面

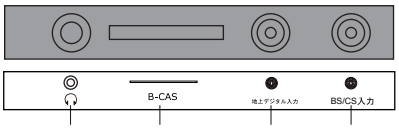


1 入力切換ボタン
2 放送切換ボタン
3 音量ボタン
4 チャンネル切換えボタン
5 電源ボタン

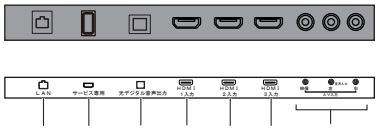
本体背面



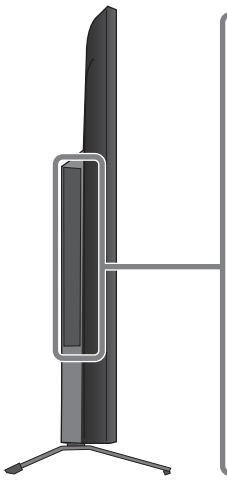
LCH4005V
1 BS/CSアンテナ入力
2 地上デジタルアンテナ入力
3 B-CSAカード挿入口
4 ヘッドフォンジャック



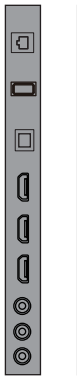
LCH5005V
1 AV入力端子
2 HDMI3 入力端子
3 HDMI2 入力端子
4 HDMI1 入力端子
5 光デジタル音声出力
6 USB端子（録画用）
7 LAN端子



本体左側面

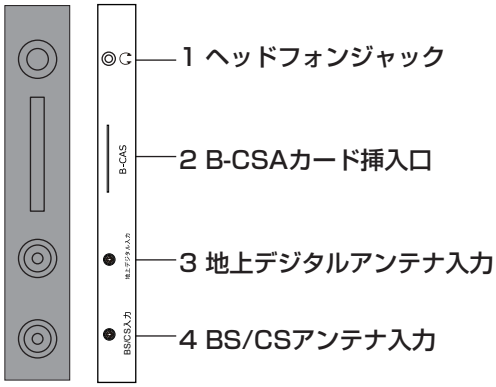


LCH4005V



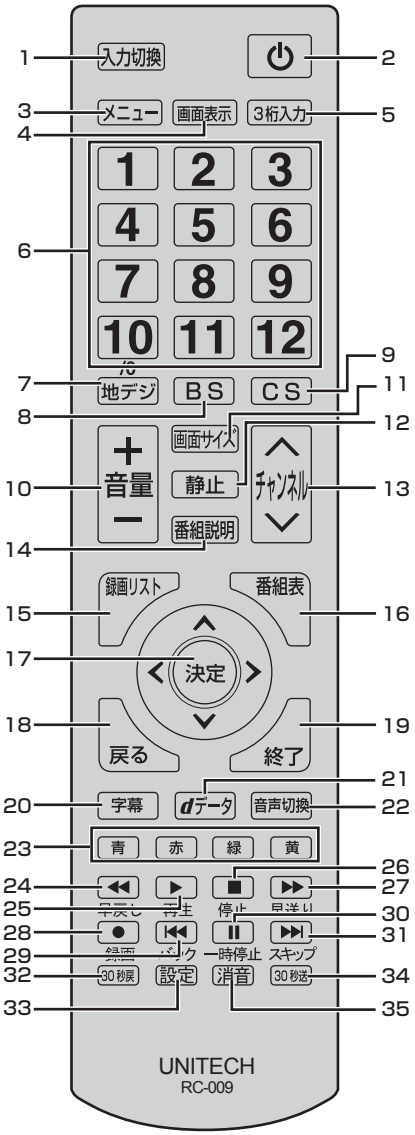
1 LAN端子
2 USB端子（録画用）
3 光デジタル音声出力
4 HDMI1 入力端子
5 HDMI2 入力端子
6 HDMI3 入力端子
7 AV入力端子

LCH5005V



1 ヘッドフォンジャック
2 B-CSAカード挿入口
3 地上デジタルアンテナ入力
4 BS/CSアンテナ入力

各部の名称（リモコン）



1　**入力切換ボタン**
入力ソースを切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、入力が切り換わり自動的にその画面が表示されます

2　**電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、切ったりします。

3　**メニューボタン**
メニュー画面を表示します。

4　**画面表示ボタン**
現在受信しているチャンネルの番組情報が表示されます。

5　**3桁入力ボタン**
3桁入力で選局します。

6　**数字ボタン**
視聴するチャンネルを選択します。また、英数字・記号等の入力に使用します。

7　**地デジボタン**
地上デジタル放送に切り換えます。

8　**BS ボタン**
ＢＳデジタル放送に切り換えます。

9　**CS ボタン**
110度ＣＳデジタル放送に切り換えます。

10 **音量＋／－ボタン**
音量を大きくしたり、小さくしたりします。

11 **画面サイズボタン**
お好みの画面サイズを選択します。

12 **静止ボタン**
テレビの映像を静止します。

13 **チャンネル ∧ ∨ ボタン**
チャンネルを順に切り換えます。

14 **番組説明ボタン**
番組の詳しい説明が表示されます。

15 **録画リスト**
TV モード：録画リストを表示します。

16 **番組表**
TV モード：番組表をテレビ画面に表示します。

17 **決定ボタン**
メニュー画面の選択内容を決定します。

▲▼◀▶ボタン
メニュー画面を表示しているときはカーソルを移動します。

18 **戻るボタン**
メニュー画面を表示しているとき、1 つ前の画面に戻ります。

19 **終了ボタン**
メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表を消したいときに押します。

20 **字幕ボタン**
字幕を切り換えます

21 **d データボタン**
データ放送を表示します。

22 音声切換ボタン
2 カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。

23 カラーボタン（青、赤、緑、黄）
データ放送を利用する場合に使用します。

24 早戻しボタン
再生中に押すと、早戻し再生をします。

25 再生ボタン
USB ハードディスクに録画した番組を再生します。

26 停止ボタン
USB ハードディスクに録画した番組の再生をいったん停止します。

27 早送りボタン
再生中に押すと、早送り再生をします。

28 録画ボタン
TV 視聴中に押すと、番組を録画します。（USB ハードディスクを接続しているとき）

29 バックボタン
再生中に前のチャプター／トラックに戻ります。

30 一時停止ボタン
再生を一時停止します。

31 スキップボタン
再生中に次のチャプター／トラックに進みます。

32 30 秒戻
TV モード：録画番組を、30 秒前に戻して再生します。

33 設定ボタン
メニューボタンを使わずに直接、設定画面を表示します。

34 30 秒送
TV モード：録画番組を、30 秒先に進めて再生します。

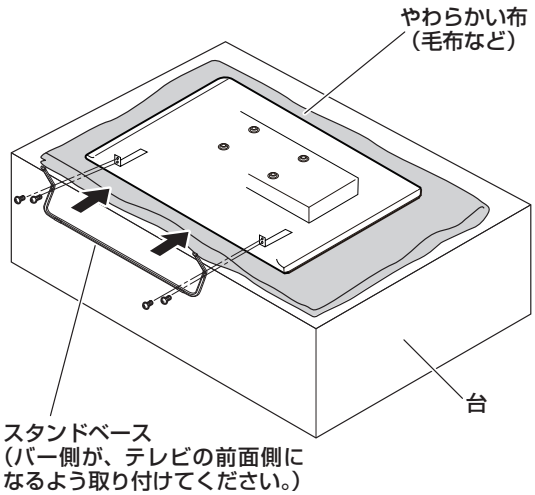
35 消音ボタン
音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

スタンドの取り付け

ご使用の前に、スタンドを取り付けてください。
スタンドには前後があります。本体にスタンドを取り付ける際は、右の図を参照し前後を正しく取り付けてください。

1 **テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く**

2 **本体にスタンドベースを固定する穴の位置を合わせ、付属のネジ４本で固定します。**

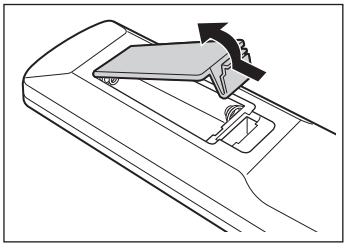


ご注意

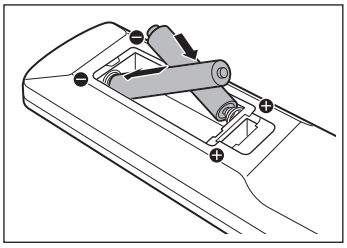
- スタンドの前後を間違えて取り付けると、転倒します。
- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。

リモコンの準備と使いかた

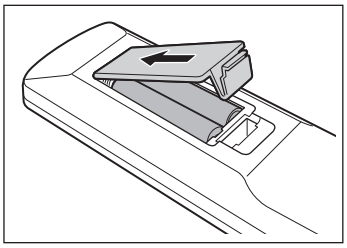
1 **リモコン裏側の電池ケースカバーをはずす**
ツメの部分を押したまま、持ち上げてください。



2 **乾電池の＋、－極の方向に注意して電池ボックスに乾電池を入れる**



3 **電池ケースカバーを元に戻す**



ご注意

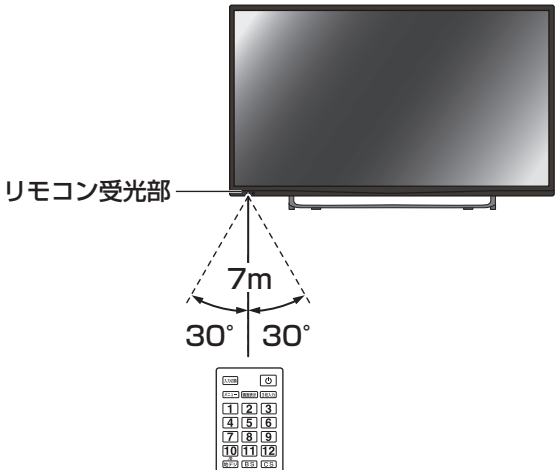
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から化学液が漏れることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れ方が正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

お願い

- 乾電池は正しい電極の向きで入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従ってください。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずし、正しく保管してください。

◆ リモコンで操作できる範囲

本体前面のリモコン受光部の正面から約 7m 左右 30˚ の範囲でお使いください。



お願い

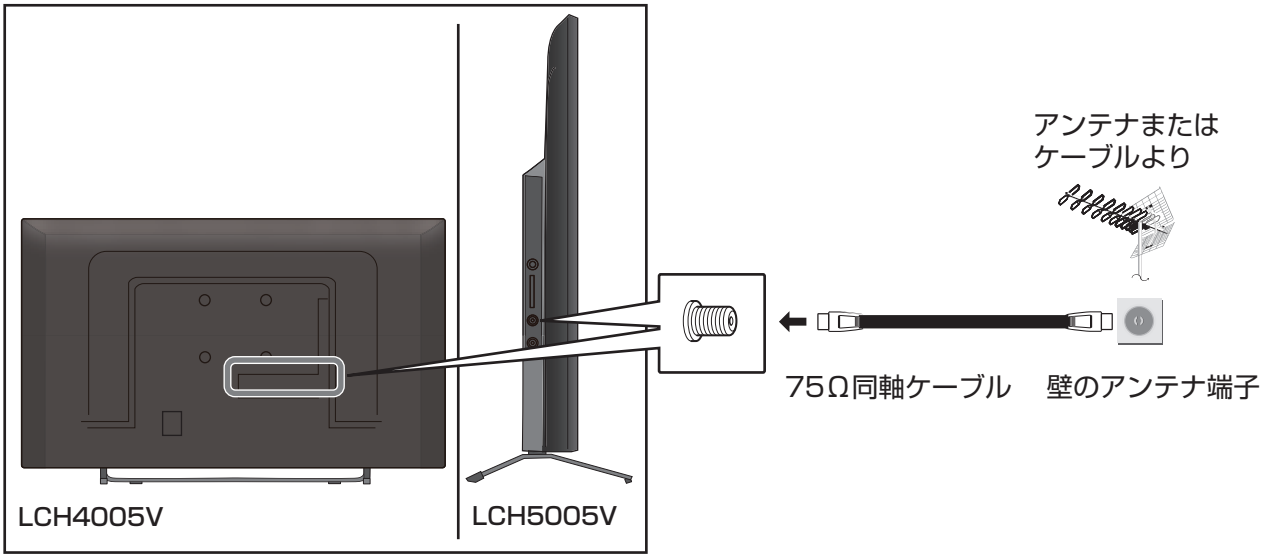
- 本体とリモコン受光部の間に物を置かないでください。

テレビを見る準備をする

アンテナを接続する

◆ 地上デジタル用アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送は UHF 帯が利用されています。UHF 対応のアンテナを使用してください。VHF アンテナでは受信ができません。
現在お使いのアンテナが UHF 対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。
アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは付属しておりません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

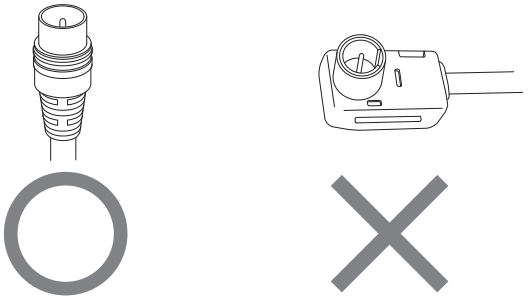


お知らせ

- 受信信号レベルは天候等の影響により変動いたします。33ページを参照し、レベルが50以上になるように設定してください。レベルが足りない場合はブースター等で調整してください。
- ケーブルテレビで放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

ご注意

- アンテナを接続するときは、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- 一部のアンテナプラグの形状は、アンテナ端子への挿入が困難なものがあります。
  アンテナプラグをご確認ください。



◆ BS・110 度 CS デジタル用アンテナ線のつなぎかた

- BS デジタル放送だけを視聴する場合は BS デジタル用アンテナを、110 度 CS デジタル放送も視聴する場合は BS・110 度 CS デジタル用アンテナをご使用ください。（以下、これらのアンテナを BS・110 度 CS デジタル用アンテナと記載します。）
- 本機と BS・110 度 CS デジタル用アンテナの接続には、BS・CS デジタル対応のケーブル（S-4C-FB 相当）をご使用ください。
- 110 度 CS デジタル放送を受信する場合でブースターや BS・CS 分配機を使用する場合は、110 度 CS デジタル放送（周波数 2150MHz 以上）に対応したものをお使いください。対応していないものを使用した場合には、110 度 CS デジタル放送を受信できません。

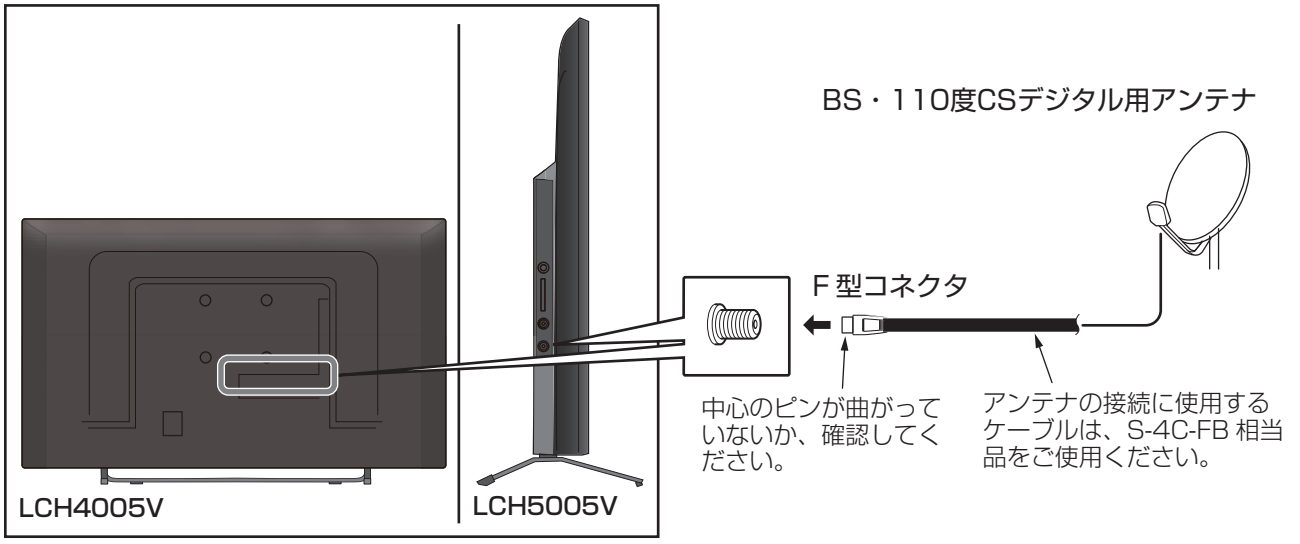
お知らせ

- 受信信号レベルは天候等の影響により変動いたします、33ページを参照し、レベルが50以上になるように設定してください。レベルが足りない場合はブースター等で調整してください。

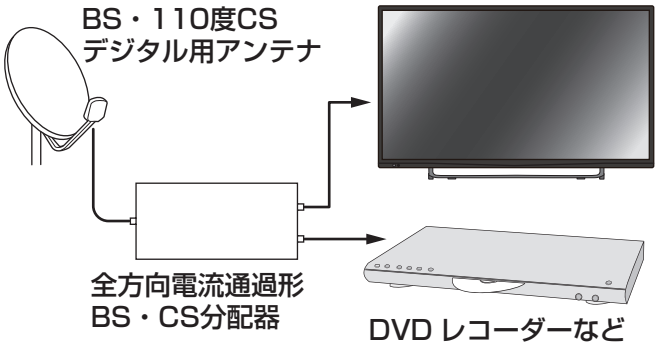
ご注意

- 本機の BS/CS 入力端子から BS・110 度 CS アンテナに電源が供給されます。
  ケーブルに F 型コネクターを取付加工する場合は、芯線とアース線がショートしないようにしてください。アンテナ電源供給の設定方法について詳しくは、34 ページをご覧ください。

BS・110 度 CS デジタル用アンテナをつなぐとき



BS・110 度 CS デジタル用アンテナ 1 台で、本機など BS や 110 度 CS 機器を 2 台以上つなぐ場合

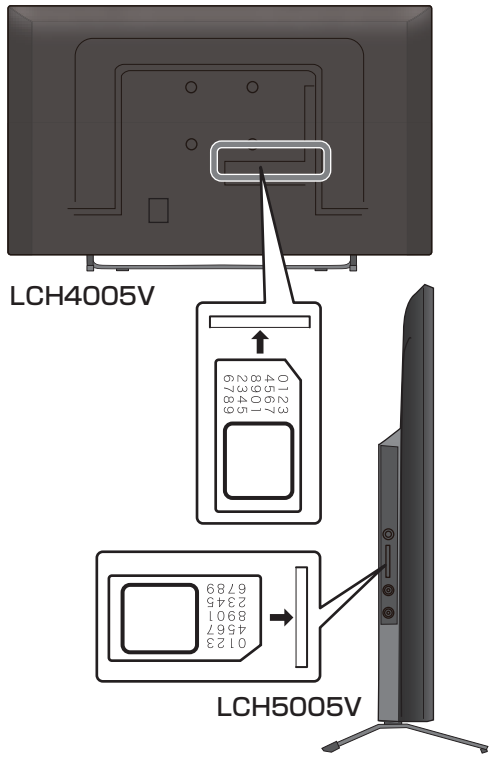


- BS や 110 度 CS 機器をつなぐときは、BS や 110 度 CS 機器付属の取扱説明書をご覧ください。
- 将来、110 度 CS デジタル放送でチャンネルがふえた場合、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できないことがあります。

テレビを見る準備をする

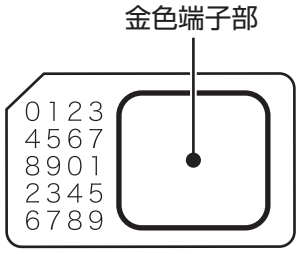
miniB-CAS カードを入れる

デジタル放送を視聴するには、miniB-CAS カードが必要です。



ご注意

- miniB-CAS カードの抜き差しは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- B-CAS カードには挿入方向があります。イラストに沿った正しい方向で、カチッと音がするまで挿入してください。
- 金色端子部がよごれるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。金色端子部に触れないようにご注意ください。



- 乾いたきれいな手で取り扱ってください。
- 金色端子部が指紋がつくなど、よごれてしまった場合は、乾いたきれいな柔らかい布でふき取ってください。

◆ B-CAS カードのお問い合わせについて

B-CAS カードのお問い合わせは、下記にお願いします。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL　0570-000-250

電源を入れる

1 **付属の AC アダプターを本体左側面の DC 電源入力端子につなぎ、電源プラグをコンセントに差し込む**

2 **リモコンまたは本体上部の電源ボタンを押す**

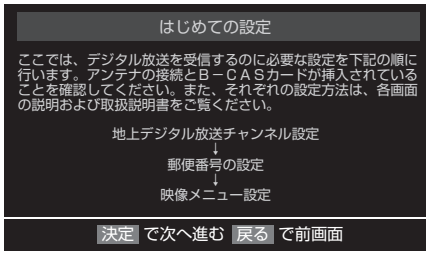
電源が入り、本体前面の電源ランプが青色に点灯します。
画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。
はじめて電源を入れたときはチャンネル設定が必要です。19 ページの「はじめての設定（チャンネル設定）をする」に進んでください。

お知らせ

- 電源を入れてから画面が表示されるまでに約 10 秒程度時間がかかります。

はじめての設定（チャンネル設定）をする

お買い上げ後、miniB-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」を行います。お住まいの地域に適したチャンネル設定をしてください。

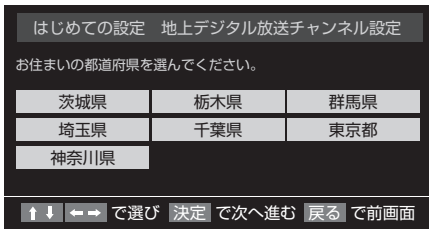


1 アンテナ接続と miniB-CAS カードを確認し、(決定) を押す

「はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定」が表示されます。

2 ▲▼◀▶でお住まいの地方を選び、(決定) を押す

都道府県を選択する画面が表示されます。



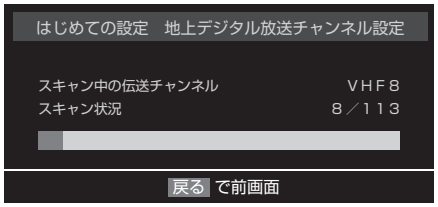
3 ▲▼◀▶でお住まいの都道府県を選び、(決定) を押す

お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻る を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- メニュー画面の最下部に、簡易操作ガイドが表示されます。

4 「はい」が選択されているのを確認し、(決定) を押す

地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。



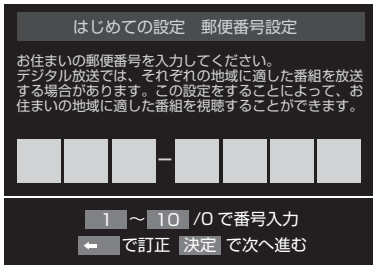
スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する画面が表示されます。

お知らせ

- 自動設定された内容を変更したい場合は、「手動設定」で設定しなおすことができます。(60ページ)

5 ▲▼を押して、チャンネルの設定結果を確認し、(決定) を押す

郵便番号を設定する画面が表示されます。郵便番号を設定することで、地域が指定されます。



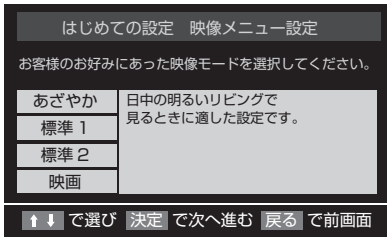
お住まいの地域に密着したデータ放送（天気予報・選挙速報など）を視聴したりするための設定です。

6 **お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10/0 で入力し、決定 を押す**

間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。

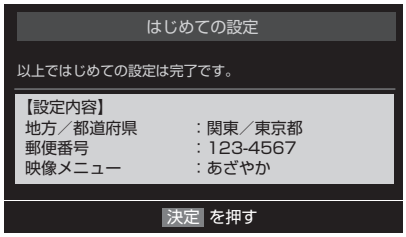
郵便番号入力で、上３ケタを入力して 決定 を押すと残りの４ケタは自動的に「0」が入力されます。

郵便番号の設定が完了すると、映像モードを選択する画面が表示されます。



7 **▲▼でお好みの映像モードを選び、決定 を押す**

設定内容が表示されます。



8 **設定内容を確認し、決定 を押す**

以上ではじめての設定は完了です。

地デジ難視対策衛星放送を受信する場合

◆ 地デジ難視対策衛星放送について

地デジ難視対策衛星放送とは、地上デジタル放送が送り届けられない地区にお住まいの方に、テレビ放送を視聴いただけるように、暫定的に衛星放送を利用して地上デジタル放送の番組をご覧いただくものです。この放送は総務省の補助と放送事業者の負担によって、社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）が実施しています。

- 視聴制御（スクランブル）をかけて対象地区を限定した放送です。
- 実施期間が 2015 年３月末までに限定された放送です。
- 視聴できるのは NHK および地域民放と同系列の東京の放送局の番組です。
- 地上デジタル放送と画質や利用できるサービスに違いがあります。（ハイビジョン画質ではなく標準画質となります。データ放送および双方向サービスは利用できません）
- この放送を利用できる対象地区は、総務省ホームページに公表されています。
  http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/index.html

ご利用やお申込みについてご不明な点は、以下の窓口にお問い合わせください

地デジ難視対策衛星放送についてのお問い合わせ先

地デジ難視対策衛星放送受付センター
【電話】（通話料がかかります）
ナビダイヤル 0570-08-2200
(045-345-0522)
【受付時間】平日 9:00 ～ 21:00
土・日・祝 9:00 ～ 18:00

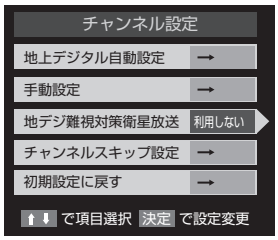
◆ 本機の設定をする

お買い上げ時、本機は地デジ難視対策衛星放送の視聴や番組表表示ができないようになっています。利用できるようにするには、以下の設定が必要です。「地デジ難視対策衛星放送受付センター」への利用申込手続が完了した時点で視聴などができるようになります。

ご注意

- 手続完了前は設定をしても視聴などはできません。

1 **メニュー を押し、▲▼と 決定 で「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」→「地デジ難視対策衛星放送」の順に進む**



2 **▲▼で「利用する」を選び、決定 を押す**

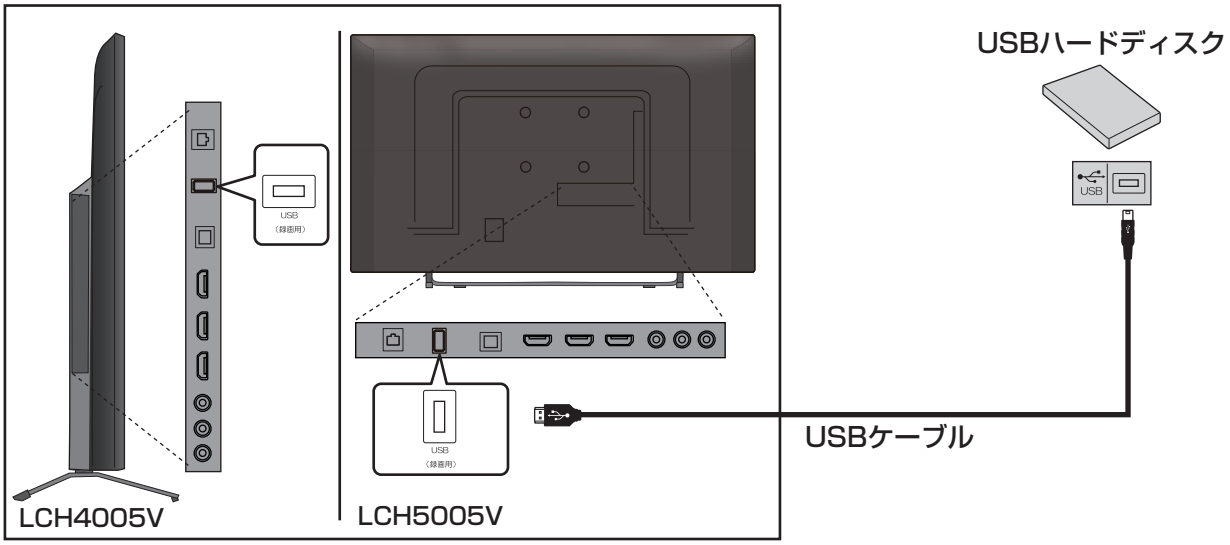
地デジ難視対策衛星放送番組の視聴や番組表表示ができるようになります。

録画機の準備をする

本機に接続したUSBハードディスク（別売り）で、デジタル放送番組の録画や録画予約ができます。

USBハードディスクを接続する

本機背面のUSB端子（録画用）に接続してください。本機右側面のUSB端子では、録画・再生はできません。



お知らせ

- 本機に接続できるUSBハードディスクの最大容量は2TBです。
- 本機に接続できるUSBハードディスクについては、75ページをご覧ください。

ご注意

- 本機とUSBハードディスクは、USBケーブルで直接接続してください。USBハブを経由して接続すると、正しく動作しない場合があります。
- パソコンで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、パソコンなどで保存していたデータはすべて消去されます。
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- 本機に接続し初期化登録を行ったUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

新しいUSBハードディスクを登録する

USBハードディスクを初めて接続するときは、必ず初期化をしてください。初期化をしないと録画することはできません。

1 以下の操作で「設定の初期化」画面にする

メニューを押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「設定の初期化」を選び、決定 を押します。

2 ▲▼ で「HDDの初期化」を選び、決定 を押す

3 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

初期化が始まります。

4 初期化が完了したら、決定 を押す

USB ハードディスクの設定をする

登録した USB ハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定、動作テストおよび初期化などができます。

1 録画リスト を押して、「メニュー」→「HDD 管理」の順に選ぶ

◆ ダイレクト録画

リモコンの ● 録画 で、録画を開始したときの録画時間を設定します。

30 分、1 時間、90 分、2 時間、3 時間、4 時間、12 時間の中から選択できます。

出荷時は「2 時間」に設定されています。

◆ 省エネ設定

本機の電源が「入」のときに、USB ハードディスクの電源を常時「入」にしておくか（通常モード）、USB ハードディスクを使用しない状態が続いたときは待機状態にする（省エネモード）にするかを設定できます。

お知らせ

- 「省エネモード」に設定した場合、USB ハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。

◆ HDD 取りはずし

本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜くときは、この操作をします。

「HDD 取りはずし」を選ぶと、確認画面が表示されるので、「はい」を選びます。

お知らせ

- 本機に一度登録してから取りはずした USB ハードディスクは、再度接続したときに自動的に認識します。録画した番組を消去することなく登録できます。

ご注意

- 本機に接続した USB ハードディスクは、必ずこの操作により安全に取りはずしてください。安全に取りはずしをしなかった場合、次回電源を入れたときに、ハードディスクの認識に数分かかったり、ハードディスクを認識できなくなったりする可能性があります。また、本機の動作が不安定になる場合があります。

◆ HDD 動作テスト

本機に接続した USB ハードディスクで、ハイビジョン画質の録画、録画中の再生などができるかをテストします。

「HDD 動作テスト」を選ぶと、テストが開始され、テストの結果が問題ない場合は、「HDD は正常に動作しています」と表示されます。

◆ HDD 初期化

USB ハードディスクを初期化します。

正常に使用できなくなった USB ハードディスクを初期化することで使用できるようになる場合があります。

ご注意

- 初期化すると、USB ハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。
- USB ハードディスクの初期化中に、本機や USB ハードディスクの電源をオフ（停電等も含む）したり、USB ケーブルを抜き差したりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。

外部機器を接続する

本機に接続できる外部機器について

本機には、映像・音声ケーブルや HDMI ケーブル、オーディオ用光デジタルケーブルなどを使って以下のような外部機器が接続できます。

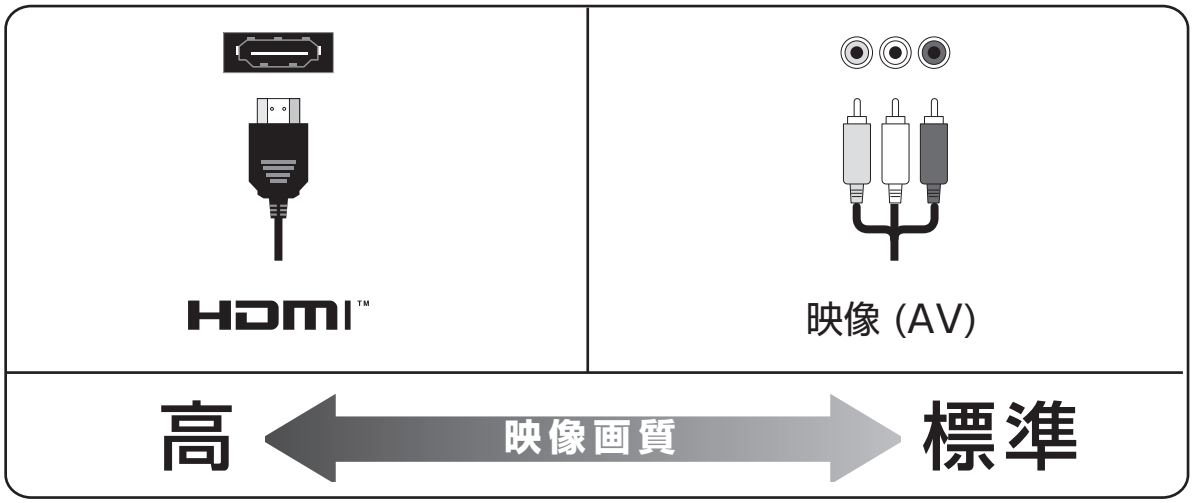
- ビデオデッキ、DVD プレーヤー・レコーダー、BD プレーヤー・レコーダーなど
- オーディオ機器
- ゲーム機
- パソコン
- ビデオカメラ

◆ 外部機器を接続する際のご注意

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

再生機器を接続する

DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。

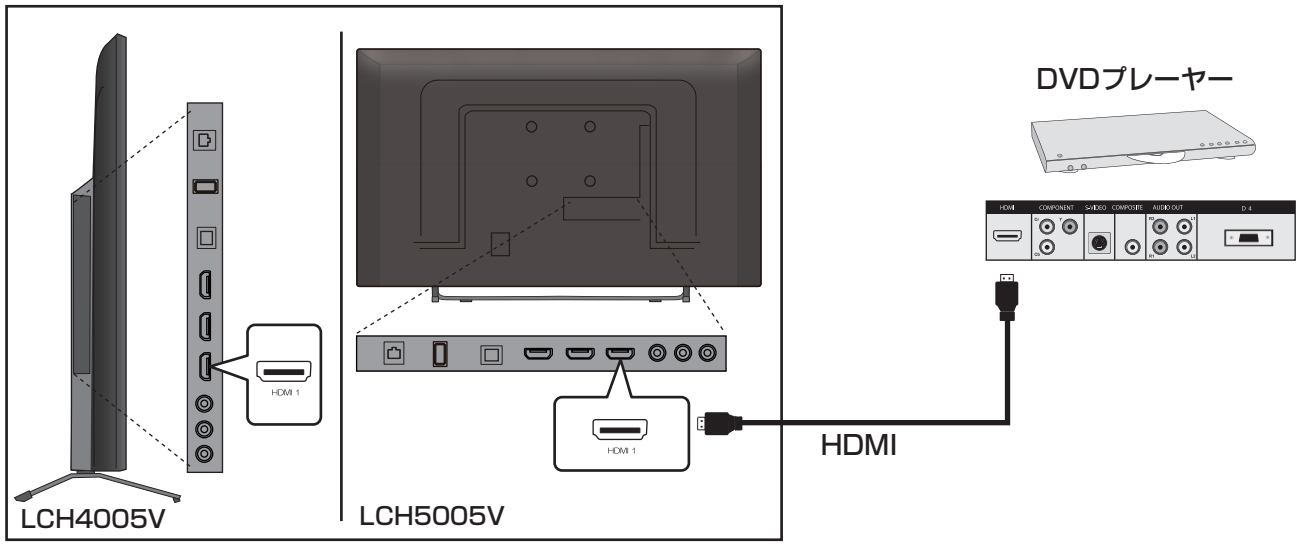


お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属しておりません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。

◆ HDMI 端子を使う場合

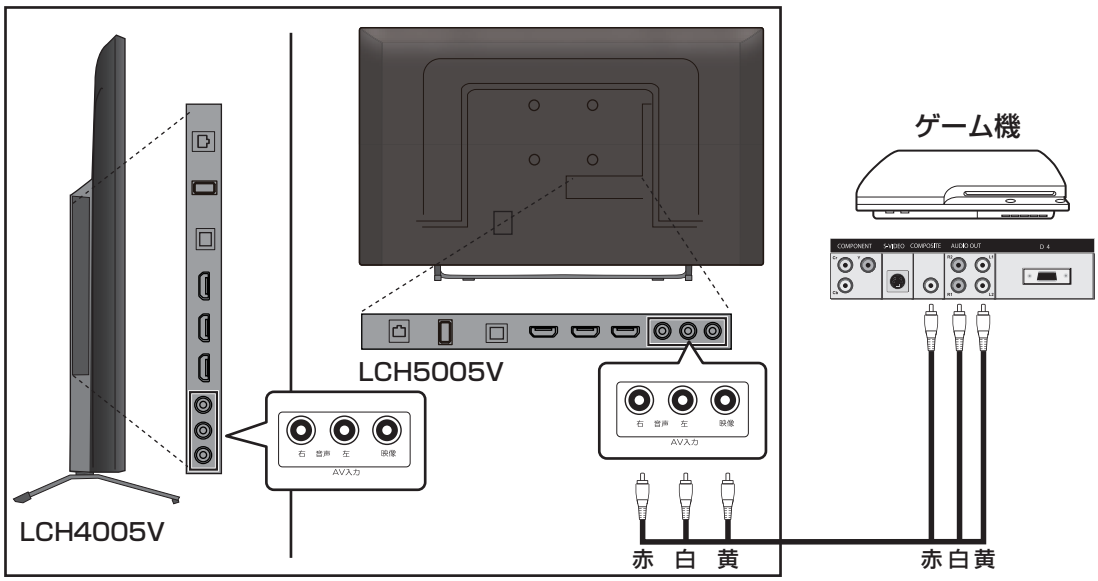
HDMI 端子のある DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを本機に接続することができます。
HDMI ケーブルを 1 本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。



お知らせ

- HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。

◆ 映像端子を使う場合



外部機器を接続する

オーディオ機器を接続する

◆ ミニコンポなどの音響システムにつなぐとき

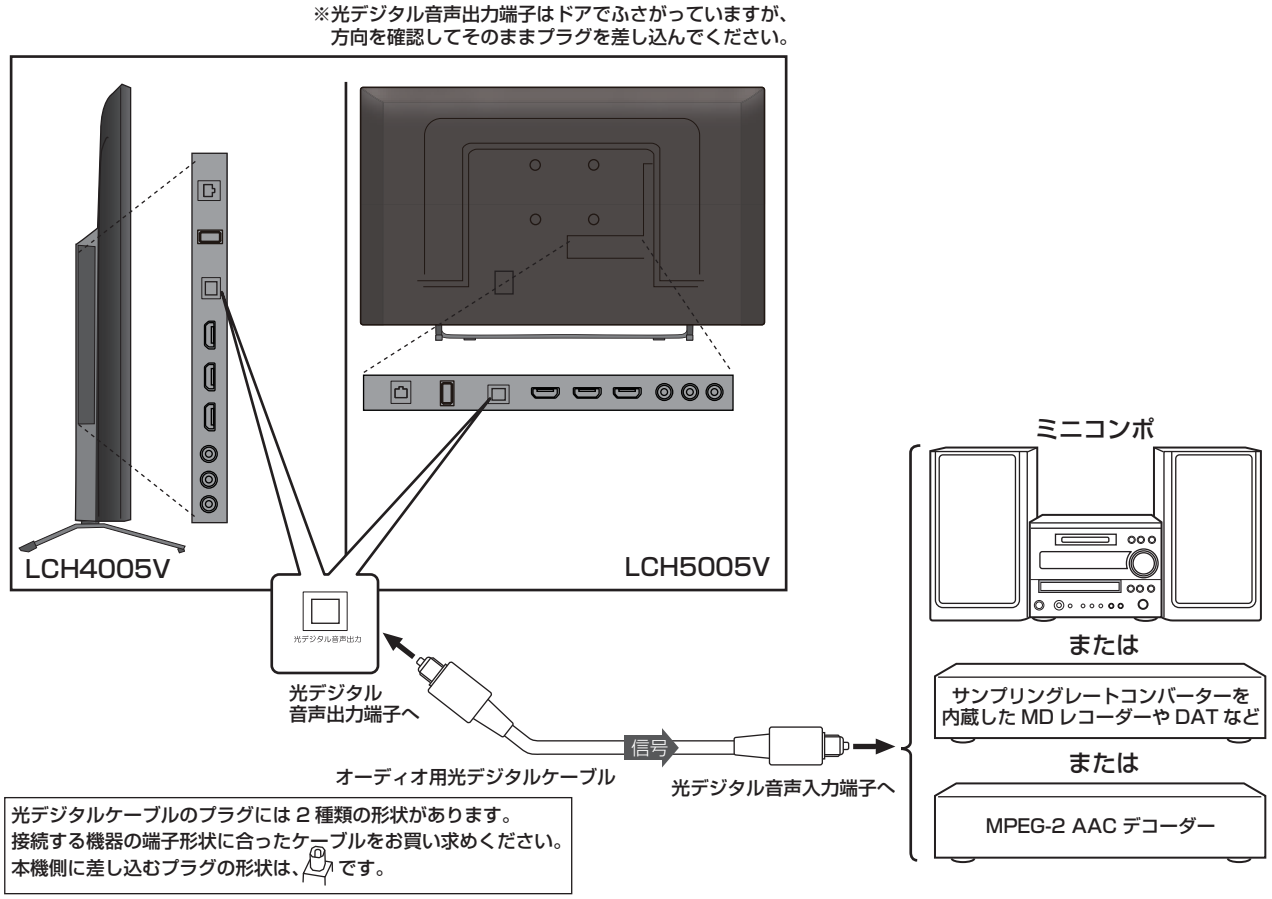
- 本機の音量を最小に調整し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、27 ページの「光デジタル音声出力の設定」をします。

◆ サンプリングレートコンバーターを内蔵した MD レコーダーや DAT につなぐとき

- MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子につなげば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 27 ページの「光デジタル音声出力の設定」で「PCM」を選択します。

◆ MPEG-2 AAC デコーダーにつなぐとき

- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。
- 27 ページの「光デジタル音声出力の設定」で「デジタルスルー」または、「サラウンド優先」を選択します。



光デジタルケーブルのプラグには 2 種類の形状があります。
接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。
本機側に差し込むプラグの形状は、 です。

◆ 光デジタル音声出力の設定

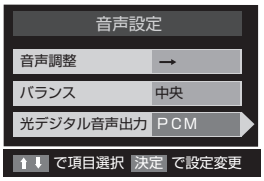
光デジタル音声出力端子から出力する音声信号を設定します。

お買い上げ時は「PCM」に設定されています。MPEG-2 AAC デコーダーや AAC デコーダー内蔵アンプをつなぐときは「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定してください。

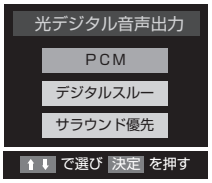
1 以下の操作で「音声設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「音声設定」を選び、決定を押します。



2 ▲▼ で「光デジタル音声出力」を選び、決定を押す



3 ▲▼ で信号を選び、決定 を押す

PCM

リニア PCM 信号が出力されます。

デジタルスルー

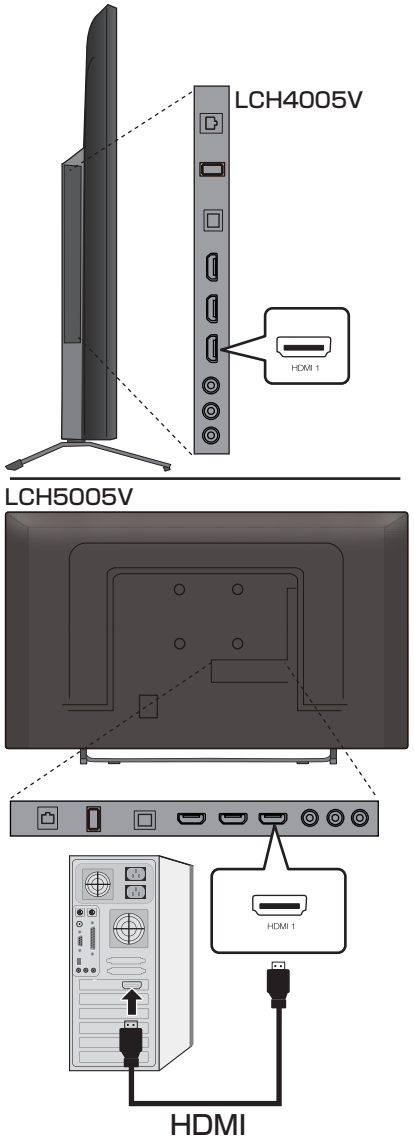
MPEG-2 AAC 信号の場合、その信号が出力されます。

サラウンド優先

MPEG-2 AAC 信号で、サラウンド音声（5.1ch や 4.1ch サラウンド音声など）の場合には、それらの信号が出力されます。それ以外の場合にはリニア PCM 信号が出力されます。

パソコンを接続する

本機に HDMI 端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。



ご注意

- PC から音声を出力したいときは、PC と本機の HDMI1 音声入力端子を接続してください。
- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- パソコンを接続する前に、パソコンの画面設定（解像度、周波数）は取扱説明書の仕様を確認し、表示できる設定に変更してください。

HDMI 連動設定

1 以下の操作で「HDMI 連動設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「CEC 設定」を選び、決定 を押します。

「HDMI 連動設定」を選び、決定 を押します。

2 ▲▼ で設定する項目を選んで 決定 を押し、右表の手順で設定する

3 終了 を押して、メニュー を押す

項目	説明および操作手順
HDMI連動機能	• HDMI の各種連動制御を使用するかどうかを設定します。 ①▲▼で「使用する」または「使用しない」を選び、決定 を押します。
HDMI連動機器リスト	• 一台以上の HDMI 連動機器を接続するとき、一つの HDMI 連動機器選択を設定します。 ①▲▼で型名を選び、決定 を押します。 ② 赤 を押すと、HDMI の接続を再検出します。
連動機器→テレビ入力切換	• 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。（本機の電源が「入」の場合） ①▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押します。
連動機器→テレビ電源	• 連動機器の電源を入れたときに、本機が自動的に電源を入れます。 ①▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押します。
テレビ→連動機器電源オフ	• 本機の電源を切ったときに、連動機器が自動的に電源を切ります。 ①▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押します。

外部入力設定

◆ 外部入力スキップ設定

入力切換をするときに、使っていない入力をスキップする（飛び越す）ことができます。

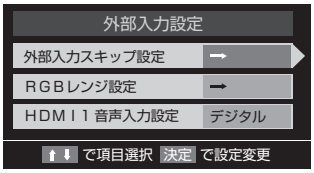
1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「外部入力設定」を選び、決定 を押します。



2 ▲▼ で「外部入力スキップ設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で設定する外部入力を選び、決定 を押す

決定 を押すたびに「スキップ」が「する」、「しない」に交互に切り換わります。

「ビデオオート」以外

- 「する」.....入力切換時にスキップします。
- 「しない」...入力切換時にスキップしません。

「ビデオオート」

- 「する」.....入力切換時に、ビデオ入力端子に何もつながっていない入力をスキップします。
- 「しない」...入力切換時にスキップしません。

◆ RGB レンジ設定

通常は「オート」でご使用ください。機器の RGB レンジが識別できない場合は、機器の仕様にあわせて設定をしてください。

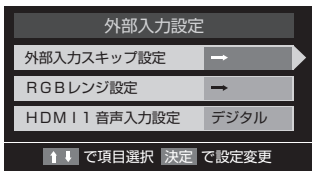
1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「外部入力設定」を選び、決定 を押します。



2 ▲▼ で「RGB レンジ設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で設定する HDMI 入力を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で以下の設定から選び、決定 を押す

- 「オート」...自動識別します。
- 「フルレンジ」
  .....RGB レンジ 0 ～ 255 の場合に選びます。
- 「リミテッドレンジ」
  .....RGB レンジ 16 ～ 235 の場合に選びます。

◆ HDMI1 音声入力設定

HDMI1 入力端子を使用しているときは、HDMI1 音声入力端子を使用することができます。音声信号はオート、デジタル、アナログから選択できます。

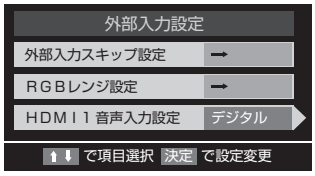
1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

メニュー を押します。

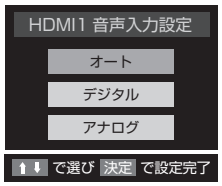
▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「外部入力設定」を選び、決定 を押します。



2 ▲▼ で「HDMI1 音声入力設定」を選び、決定 を押す



3 ▲▼ で以下の項目から選び、決定 を押す

- 「オート」...自動的に音声出力が切り換わります。
- 「デジタル」
  .....HDMI1 入力端子に映像、音声ともに入力される場合は、この設定にします。
- 「アナログ」
  .....HDMI1 入力端子につないだ機器の音声を、HDMI1 音声入力端子から入力する場合は、この設定にします。

LAN 端子の接続と通信設定

「通信設定」は、LAN 端子の接続をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。

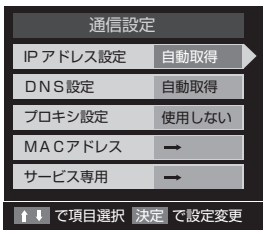
1 以下の操作で「通信設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「通信設定」を選び、決定 を押します。



2 ▲▼ で設定したい項目を選んで 決定 を押し、以下の表の手順に従って設定する

3 設定を有効にするには、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れる

項目	説明および操作手順
IPアドレス設定	• インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。 ※「IP アドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS 設定」の「DNS アドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。 ①▲▼ で「IP アドレス設定」を選び、決定 を押す ②IP アドレスを自動取得できる場合は、◀▶ で「する」を選ぶ ＜ IP アドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合＞ 1)◀▶ で「しない」を選ぶ 2) ▲▼ で「IP アドレス」を選び、1 ～ 10/0 で入力する 3) ▲▼ で「サブネットマスク」を選び、1 ～ 10/0 で入力する 4) ▲▼ で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1 ～ 10/0 で入力する • 2) ～ 4) では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。 • ▲▼ ▶ で選び、1 ～ 10/0 で番号入力、◀ で訂正、決定 で設定完了。 ③決定 を押す

LAN 端子の接続・設定

項目	説明および操作手順
DNS設定	• ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。 ※「IP アドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS アドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。DNS アドレスを手動で設定してください。 ①▲▼ で「DNS 設定」を選び、(決定) を押す ②DNS アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「する」を選ぶ ＜ DNS アドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合＞ 1)◀▶ で「しない」を選ぶ 2) ▲▼ で「DNS アドレス（プライマリ）」を選び、[1] ～ [10/0] で入力する 3) ▲▼ で「DNS アドレス（セカンダリ）」を選び、[1] ～ [10/0] で入力する • 2) と 3) では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。 • 欄を移動するには、◀▶ を押します。 ③(決定) を押す
プロキシ設定	• インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。 • ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。 • ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。 ①▲▼ で「プロキシ設定」を選び、(決定) を押す ②▲▼ で「使用する」を選び、(決定) を押す ③▲▼ で「サーバー名」を選び、(決定) を押す ④サーバー名を入力し、(決定) を押す • 文字入力モードを切換えるには [画面表示] を押し ◀▶ で入力モードを選び、(決定) を押す。 • 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。 ⑤▲▼ で「ポート番号」を選び、[1] ～ [10/0] でポート番号を入力する ⑥▲▼ で「設定完了」を選び、(決定) を押す
MACアドレス	• ネットワーク上につながっている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。 ①▲▼ で「MAC アドレス」を選び、(決定) を押す ②MAC アドレスを確認したら、(決定) を押す
サービス専用	• インターネットに正しく接続しているかどうかテストします。 ①▲▼で「サービス専用」を選び、(決定) を押す ②結果を確認したら、(決定) を押す

アンテナの方向調整と設定

地上デジタルアンテナの方向調整

「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

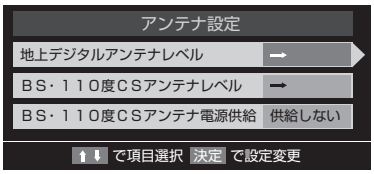
1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

メニュー を押します。

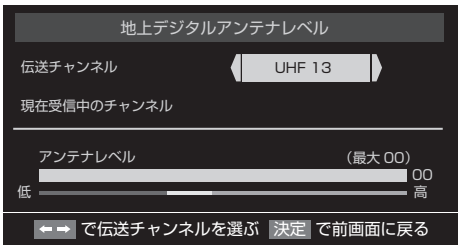
▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押します。



2 ▲▼ で「地上デジタルアンテナレベル」を選び、決定 を押す



3 ◀▶ で「伝送チャンネル」を選ぶ

お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選んでください。

◀▶ を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF1～VHF12 ↔ UHF13～UHF62 ↔ CATV13～CATV63

4 各放送局がレベルメーターの緑色の部分まで上がるように調整する

アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。

5 アンテナを固定して、決定 を押す

BS・110 度 CS アンテナの方向調整

アンテナの方向調整は、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

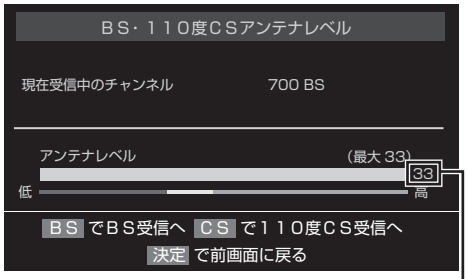
メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押します。

2 ▲▼ で「BS・110 度 CS アンテナレベル」を選び、決定 を押す



受信できるアンテナレベルの目安は、BS デジタルが 36 以上、110 度 CS デジタルが 28 以上です。
（表示される数値は、受信 C/N を換算したものです）

3 BS または CS を押して、放送の種類（BS または 110 度 CS）を選ぶ

4 契約しているチャンネル、または無料チャンネルをチャンネル へ ∨ ボタンで選ぶ

5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

6 アンテナを固定して、決定 を押す

アンテナの方向調整と設定

BS・110度CSアンテナ電源供給

アンテナに供給する電源をアンテナ電源といいます。
お買い上げ時は、「供給する」に設定されています。
マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。

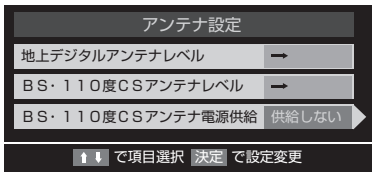
1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

メニュー を押します。

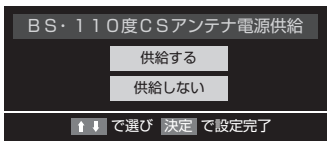
▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押します。



2 ▲▼ で「BS・110度CSアンテナ電源供給」を選び、決定 を押す



3 ▲▼ で「供給する」または「供給しない」を選び、決定 を押す

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

1 **リモコンまたは本体上部の電源ボタンを押す**
前面の電源ランプが緑色に点灯します。
しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。

2 **地デジ 、BS 、CS で地上デジタル放送、BS 放送または CS 放送を選ぶ**

3 **数字ボタン（①〜⑫）、チャンネル ∧ ∨ ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ**

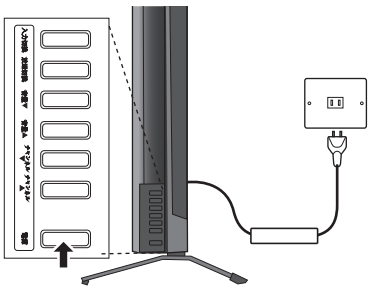
- チャンネル ∧ ∨ ボタンを押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。
- チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。メニュー を押し、▲▼と 決定 で「その他の設定」→「チャンネル番号入力」を選び、数字キーで 3 桁のチャンネル番号を入力します。

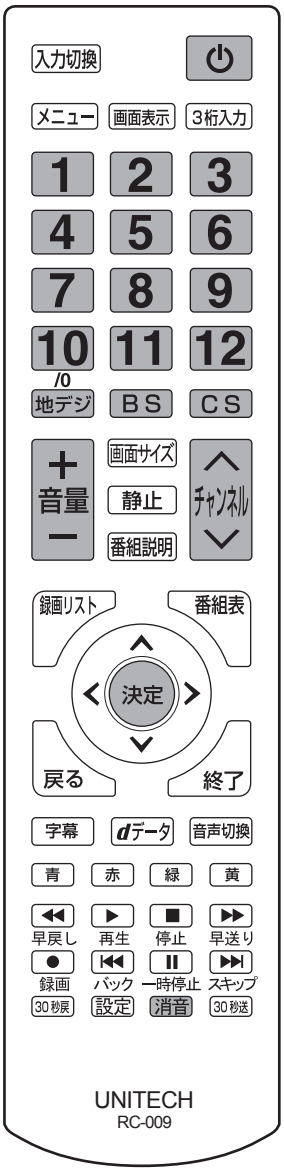
4 **音量＋／－ボタンで音量を調節する**

◆ 音だけを消したいとき

1 **消音 を押す**
画面右下に「消音」と表示されます。

2 **元に戻すには、もう一度 消音 を押す**
音量＋／－ボタンを押しても音が出ます。

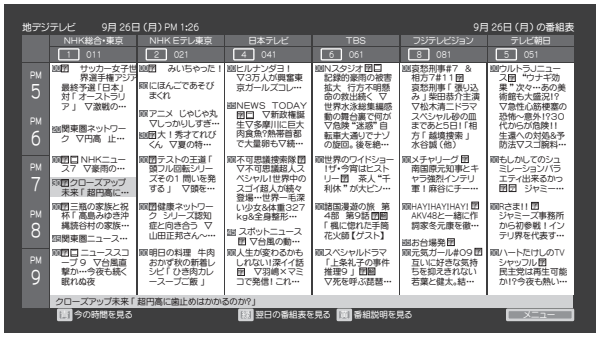




番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大 7 日先までの放送予定を確認できます。

1 **放送視聴中に 番組表 を押す**
視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。
放送の種類を変更するには 地デジ、BS、CS のいずれかを押します。



2 **番組表を消すには、戻る 、番組表 または 終了 を押す**

お知らせ

- 番組表 を押すと 2 秒ほどで表示されます。
- 番組表を表示中に メニュー を押して「番組情報の取得」を選択し、番組情報を取得してください。(表示されるまでに時間がかかったり、情報が取得できないことがあります。)
- 番組表を表示中に メニュー を押して「文字サイズ変更」を選択すると、表示する文字サイズを「大」、「中」、「小」から選択できます。
- 番組表を表示中に メニュー を押して「番組記号一覧」を選択すると、番組表に表示されている各記号が示す内容を確認できます。

◆ 視聴予約を設定する

1 **放送視聴中に 番組表 を押す**
番組表が表示されます。

2 **▲▼◀▶で予約したい番組表を選び、決定 を押す**

3 **番組説明を確認して、「視聴予約をする」を選び、決定 を押す**
番組表の予約した番組のボックスに赤いマークが付きます。

ご注意

- 視聴予約を設定後、電源を切ると予約は取り消されます。

◆ 視聴予約を取り消す

1 **予約した番組を選び、決定を押す**

2 **番組説明を確認して、「視聴予約を取消」を選び、決定を押す**
番組表の予約した番組のボックスの赤いマークが消えます。

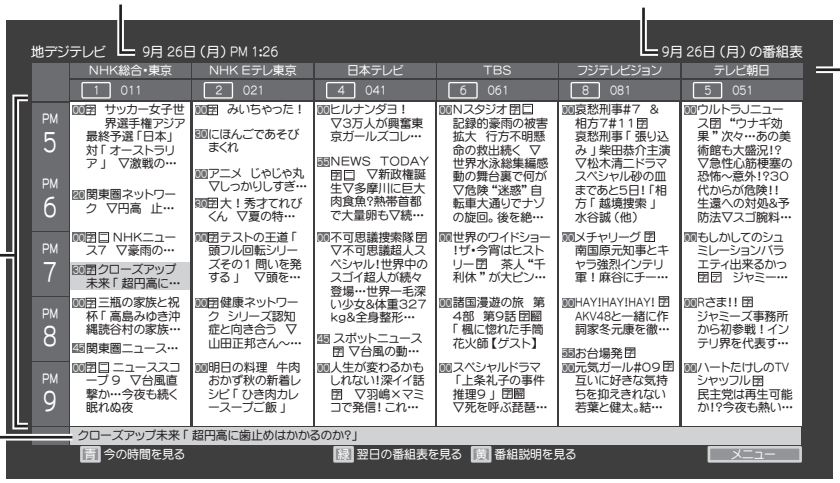
◆ 番組表の見かた

5 時間分の番組表が表示されます。
▲▼で時間帯が移動します。

6 チャンネル分の番組表が表示されます。
◀▶でほかのチャンネルに移動します。

現在日時表示

選択している番組枠の日にち



選択している番組枠の情報が表示されます。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

◆ データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別に独立したチャンネルで行われているデータ放送のほか、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や番組案内、ニュース、天気予報などがあります。

◆ デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネット回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組への参加やショッピング番組で商品の購入ができます。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

◆ ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことが可能になります。

◆ 独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

独立データ放送やラジオ放送は BS デジタル放送です。
放送を楽しむには、それぞれの放送チャンネルを選ぶ必要があります。

1 **放送視聴中に [BS] を押す**
放送が BS デジタル放送に切り換わります。

2 **[番組表] を押して番組表を表示する**

ご注意

- USB ハードディスクで録画をしている場合、この操作はできません。

3 **▲▼◀▶ で移動し、(決定) を押す**
選択した番組が表示されます。

お知らせ

- 数字キーで 3 桁のチャンネル番号を入力して選ぶこともできます。

◆ 連動データ放送を楽しむ

1 **[dデータ] を押す**
放送局により、表示される内容が異なります。画面に表示される操作指示に従って操作してください。

お知らせ

- 番組によって、押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作してください。

2 **▲▼◀▶ で移動し、(決定) を押す**
選択した情報を見ることができます。

3 **[dデータ] を押すと、通常の画面に戻ります**
[メニュー] を押し、▲▼ と (決定) で「その他の設定」→「データ放送終了」を順に選んでも終了します。

お知らせ

- 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、[dデータ] ボタンは「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。
- 本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。

接続した機器の映像を見る（入力切換）

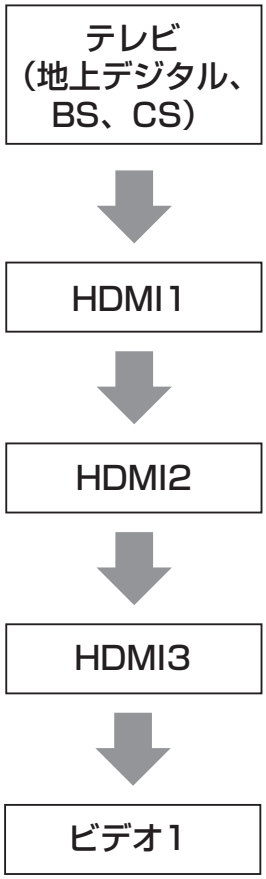
本体背面の外部入力端子に接続したDVDプレーヤーやビデオデッキなどの使用時に入力切換を行います。

1 入力切換 **を押す**

2 入力切換 **を繰り返し押して、入力モードを選ぶ**

お知らせ

- 本体上面の入力切換ボタンでも入力切換ができます。
- 音量の調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。



便利な機能を使う

テレビの映像を静止させる

1 一時停止 **を押す**

解除するときは 一時停止 をもう一度押します。
映像が静止中でも音声は流れ続けます。

画面サイズを変える

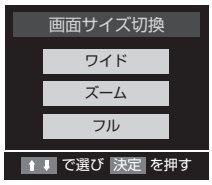
視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

◆ 地上デジタル放送の 16：9 映像のとき

1 メニュー **を押す**

2 **▲▼ で「画面サイズ切換」を選び、決定 を押す**

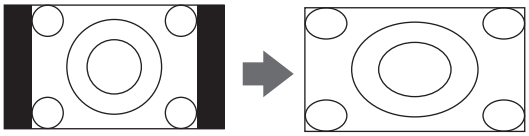
「画面サイズ切換」が表示されます。



3 **「ワイド」「ズーム」「フル」を選び、決定 を押す**

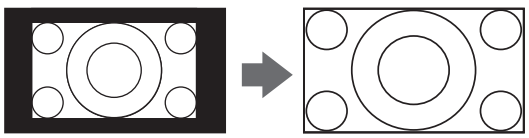
ワイド

左右に黒帯のある画像を、画面いっぱいに拡大して表示します。（上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします）



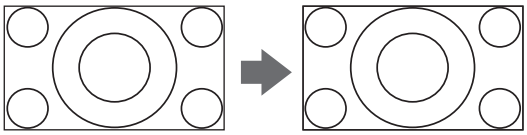
ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



フル

16：9 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。



画面の位置や幅を調整する

画面右下に表示されている「放送／端子、信号、画面サイズ」の組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。

ご注意

- 「画面サイズ切換」が「フル」の場合は調整できません。
- 映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

1 メニュー **を押す**

2 **▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す**

3 **▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す**

4 **▲▼ で「画面調整」を選び、決定 を押す**

5 **▲▼ で調整したい項目を選び、決定 を押す**

上下振幅調整

映像の縦のサイズを調整します。

上下画面位置

映像の表示位置を上下に調整します。

左右振幅調整

映像の横のサイズを調整します。

6 **◀▶ でお好みの状態に調整し、決定 を押す**

上下振幅調整と左右振幅調整は－ 03 ～＋ 03、上下画面位置の表示位置は－ 10 ～＋ 10 の範囲で調整できます。

調整画面は◀▶を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。

チャンネル情報を見る

画面表示を押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

1 **画面表示 を押す**

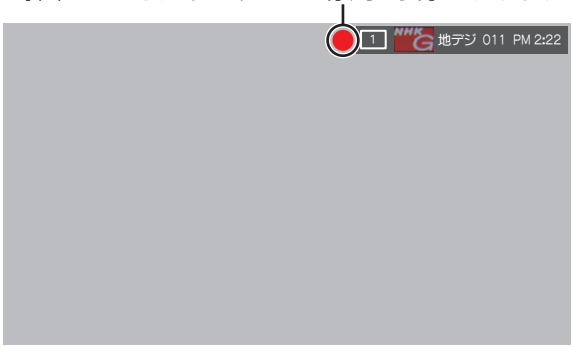
2 **表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す**

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。

録画しているチャンネルには赤丸が表示されます。

しばらくすると、画面下部の表示は消えて上部の表示だけになります。

録画しているチャンネルには赤丸が表示されます。



音声を切り換える

1 **音声切換 を押す**

押すたびに別の音声に切り換わります。

お知らせ

- 受信している放送によって音声表示は異なります。
- 切り換える音声がない場合には「音声多重放送でないため、切り換えられません。」と表示されます。

字幕を表示する

「字幕切換」を「字幕オン」に設定すると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。

字幕放送番組は、番組説明に字のアイコンが表示されます。（一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります）

1 **メニュー を押す**

2 **▲▼ で「その他の設定」を選び、決定 を押す**

3 **▲▼ で「信号切換」を選び、決定 を押す**

4 **▲▼ で「字幕切換」を選び、決定 を押す**

5 **▲▼ で「字幕オフ」または「字幕オン」を選び、決定 を押す**

お知らせ

- 字幕 でも字幕のオン／オフを切り換えることができます。字幕 を押すたびに切り換わります。

便利な機能を使う

文字スーパーを表示する

文字スーパーは、見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。
文字スーパーの表示は、メニューの「文字スーパー表示設定」から設定することができます。61 ページをご覧ください。

降雨対応放送に切り換える

BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
※以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> メニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード:E201

1 メニュー **を押す**

2 ▲▼ **で「その他の設定」を選び、** 決定 **を押す**

3 ▲▼ **で「信号切換」を選び、** 決定 **を押す**

4 ▲▼ **で「降雨対応放送切換」を選び、** 決定 **を押す**

5 ▲▼ **で「降雨対応放送」を選ぶ**
降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

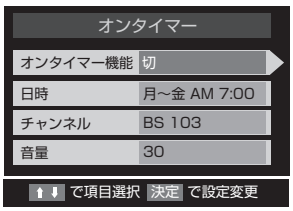
テレビを目覚ましに使う

設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 メニュー **を押す**

2 ▲▼ **で「タイマー機能」を選び、** 決定 **を押す**

3 ▲▼ **で「オンタイマー」を選び、** 決定 **を押す**



4 ▲▼ **で設定する項目を選び、** 決定 **を押す**

オンタイマー機能
オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。
①▲▼ で「オンタイマー機能」を選び、決定 を押す
②▲▼ で「入」を選び、決定 を押す
- オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

日時

オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

①▲▼ で「日時」を選び、決定 を押す

②◀▶ で設定する項目を選び、▲▼で日時を選ぶ

- 曜日は「毎日」、「毎週（日）」～「毎週（土）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。

③設定が終わったら、決定 を押す

④本体前面の ON タイマー表示ランプ（緑色）が点灯していることを確認する

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

①▲▼ で「チャンネル」を選び、決定 を押す

②▲▼ でチャンネルを選び、決定 を押す

- 放送の種類： 地デジ／ BS ／ CS
- チャンネル： 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

①▲▼ で「音量」を選び、決定 を押す

②▲▼ でお好みの音量を選び、決定 を押す

5 「オンタイマー」を「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を切る

ご注意

- 本体の電源ボタンで電源を切らないでください。

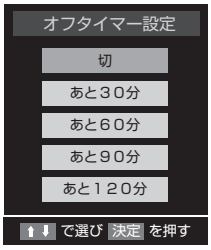
自動で電源が切れるようにする

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「タイマー機能」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「オフタイマー」を選び、決定 を押す



4 ▲▼ で設定時間を選び、決定 を押す

お知らせ

- 電源が切れる 1 分前になると、画面にメッセージが表示されます。

録画・予約をする

録画機能について

◆ USB ハードディスクに録画できる番組

番組	録画の可／不可
地上デジタル放送番組	録画できます
BS/110 度 CS デジタル放送番組	録画できます
外部入力からの映像・音声	録画できません

ご注意

- 録画できるのは本機で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。

◆ USB ハードディスクの接続・設定と録画前の準備

接続・設定

- 22 ページ

録画前の準備

- USB ハードディスクと本機を接続しておきます。
- USBハードディスクの残量を確認します(50ページ)。
- 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除してください（52 ページ)。

ご注意

- 本機に登録していない USB ハードディスクでは録画できません。
- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、上記ページを参照し、接続・設定を確認してください。
- 本機で動作確認済の USB ハードディスクについては、75 ページを参照してください。

◆ 録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	46 ページ
番組表から録画予約する	46 ページ
連続ドラマなどを繰り返し録画予約する	46 ページ
録画する日時を指定して録画予約する	47 ページ

ご注意

- USB ハードディスクの最大予約件数は 64 件です。また、最大総番組数は 300 件です。
- 本機に接続した USB ハードディスクは、容量に関わらず、残容量が 1GB 未満もしくは 1% 未満になった場合は録画できません。
- 録画中に、本機や USB ハードディスクの電源をオフ（停電等も含む）したり、USB ケーブルを抜き差したりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど､本機の動作が不安定になる場合があります。
- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

重要なお知らせ

万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

◆ USB ハードディスクの自動削除機能について

- 録画番組数が 300 件を超える場合や、ハードディスクの残容量が 1GB 未満もしくは 1% 未満になった場合に、録画開始時に自動的に録画番組を削除する機能です。録画日付の古い順に、再生済みの番組が自動的に削除されます。再生済みの番組を削除してもハードディスクの残容量が不足しているときは、録画日付の古い順に、再生していない番組が削除されます。
- お買い上げ時には、USB ハードディスクの「自動削除設定」(52 ページ) が「削除する」に設定されています。
- 録画番組が自動的に削除されないようにする場合は、「自動削除設定」を「削除しない」に設定するか、または録画番組を保護してください(52 ページ)。

◆ 録画可能時間の目安

「自動削除設定」が「削除する」に設定されている場合、録画時間が下表の時間よりも少なくなることがあります。

例：500GB の USB ハードディスクの場合

放送番組の種類	録画可能時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送（HD）番組だけを録画する場合	約 50 時間
BS/110 度 CS デジタルハイビジョン放送番組（HD）だけを録画する場合	約 42 時間
地上デジタルおよび BS/110 度 CS デジタルの標準テレビ放送番組（SD）だけを録画する場合	約 125 時間

- USB ハードディスクの残量時間表示は、BS デジタル放送の HD 放送（24Mbps）を基準に算出しています。録画可能時間表示はあくまでも目安としてご確認ください。

録画・予約をする

見ている番組を録画する

現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

1 ● 録画 **を押す**

見ている番組の録画が始まります。

お買い上げ時は、2 時間後に録画が自動的に停止します。録画時間の設定を変更する場合は、23ページをご覧ください。

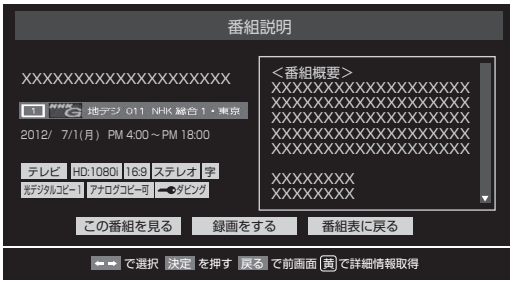
番組表から録画予約する

1 番組表 **を押す**

2 **▲▼◀▶ で録画したい番組を選び、** 決定 **を押す**

3 **以下の操作で録画・予約をする**

現在放送中の番組を選んだ場合



① **◀▶ で「録画をする」を選び、** 決定 **を押す**

録画予約登録確認画面が表示されます。

これから放送される番組を選んだ場合

① **◀▶ で「録画予約をする」を選び、** 決定 **を押す**

録画予約登録確認画面が表示されます。

4 決定 **を押す**

「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押します。

これで録画予約は完了です。番組表に録画予約アイコンが表示されます。

お知らせ

- 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確認や取消しについては、48ページをご覧ください。

連続ドラマなどを繰り返し録画予約する

連続ドラマなど同じ時間帯に繰り返し放送される番組を、毎回自動的に録画することができます。

1 番組表 **を押す**

2 **▲▼◀▶ で繰り返し録画予約をしたい番組を選び、** 決定 **を押す**

3 **◀▶ で「録画予約をする」を選び、** 決定 **を押す**

4 **▲▼ でお好みの設定を選び、** 決定 **を押す**

設定項目は以下のとおりです。

「月～木」、「月～金」、「月～土」、「毎日」、「毎週（月）」～「毎週（日）」

5 **◀▶ で「はい」を選び、** 決定 **を押す**

繰り返し録画予約が設定されます。

録画する日時を指定して録画予約する

1 番組表 **を押す**

2 メニュー **を押す**
メニューが表示されます。

3 **▲▼で「予約リスト」を選び、** 決定 **を押す**
予約リストが表示されます。

4 青 **を押す**
日時指定予約画面が表示されます。

5 **録画予約の日時を設定する**

① **設定する項目を◀▶で選び、▲▼で日時を設定する**

- 6 週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週（月）」～「毎週（日）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大 12 時間です。

② **設定が終わったら、** 決定 **を押す**

6 **録画するチャンネルを設定する**

① **設定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選ぶ**

- 放送の種類 …… 地デジ／ BS ／ CS
- 放送メディア …… テレビ／ラジオ（BS、110 度 CS のみ）／データ
- チャンネル …… 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

② **設定が終わったら、** 決定 **を押す**

7 **▲▼◀▶で「録画予約」を選び、** 決定 **を押す**

8 **「予約を設定しました。」が表示されたら、** 決定 **を押す**

お知らせ

- 予約の確認や取消しについては、48ページをご覧ください。

録画を中止する

録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

◆ 見ている番組を録画中のとき

1 ■ 停止 **を押す**
録画が停止します。

◆ 録画予約で録画中のとき

1 ■ 停止 **を押す**
録画の中止を確認するメッセージが表示されます。

2 **◀▶で「はい」を選び、** 決定 **を押す**
録画が停止します。

録画・予約をする

予約の確認・取消しをする

録画予約した内容の確認、取り消しができます。

1 番組表 **を押す**

2 メニュー **を押す**
メニューが表示されます。

3 **▲▼ で「予約リスト」を選び、** 決定 **を押す**
予約リストが表示されます。

4 **▲▼ で予約を確認する番組を選び、** 決定 **を押す**
この画面で予約の確認ができます。

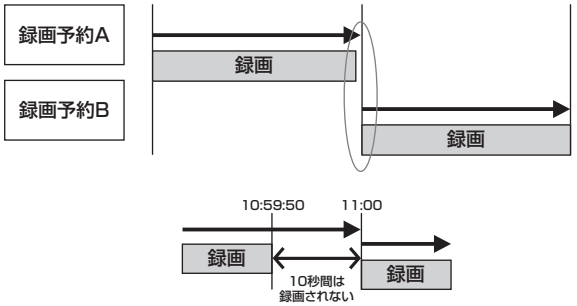
5 **予約を取り消すときは、◀▶ で「はい」を選び、** 決定 **を押す**
予約が取り消されます。

録画予約に関するお知らせ

◆ 録画動作について

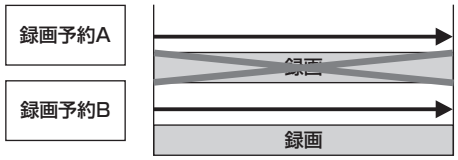
録画予約した番組の放送時間が連続する場合

録画予約 A が 10:00 ～ 11:00、録画予約 B が 11:00 ～ 12:00 の場合、録画予約 A の終端 10 秒間は録画されません。



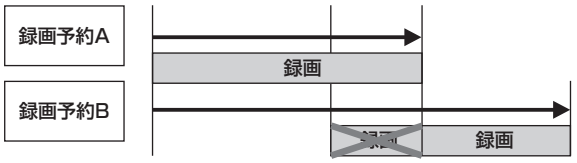
録画予約した番組の放送開始時刻が同じ場合

録画予約 A と録画予約 B の放送開始時刻がまったく同じ場合、最後に予約された録画予約 B が優先されます。



録画予約した番組の放送時間が一部重複する場合

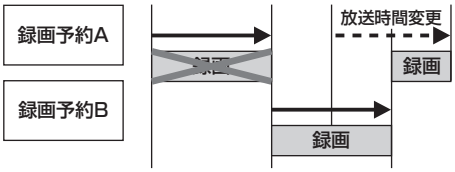
録画予約 A と録画予約 B の一部の時間帯が重複する場合、開始時刻が早い録画予約 A が優先され、録画予約 A の録画終了後、録画予約 B の録画を開始します。



◆ 録画予約した番組が編成変更した場合の動作について

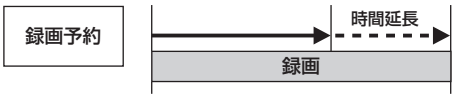
録画予約した番組の放送開始時刻が変更され、他の録画予約と重複した場合

録画予約 A の放送開始時刻が遅延し、録画予約 B の録画中の時間帯に変更された場合、録画を開始している録画予約 B が優先され、録画予約 B の録画終了後、録画予約 A の録画を開始します。



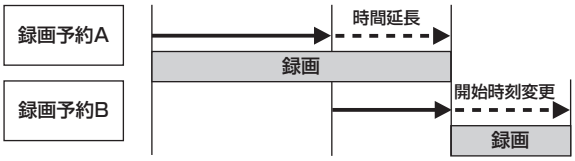
録画予約した番組の放送時間が延長された場合

放送時間延長分も含めて、すべて録画されます。



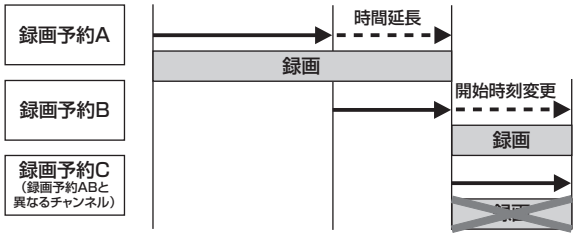
録画予約した番組の放送時間が延長し、録画予約した次の番組の開始時刻が変更された場合

録画予約 A の放送時間が延長し、録画予約 B（A と同チャンネル）の開始時刻が変更された場合、放送時間延長分も含めて、すべて録画されます。



録画予約した番組の開始時刻時間が変更され、他の録画予約と時間帯が重複した場合

録画予約 A の放送時間が延長し、録画予約 B（A と同チャンネル）の開始時刻が変更された場合、放送時間延長分も含めて、すべて録画されます。ただし、放送時間帯が重複した録画予約 C（他チャンネル）は録画されません。



録画した番組を再生する

録画番組を再生する

USB ハードディスクに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

◆ 再生の基本操作

1 録画リスト **を押す**

録画リストが表示されます。

録画リストには、選択している番組の簡単な情報や、録画可能時間、USB ハードディスクの残量（%）などが表示されます。

2 ▲▼ **で見たい番組を選び、** 決定 **を押す**

- 選んだ番組の再生が始まります。（再生されるまでに時間がかかる場合があります）
- 番組冒頭部分の 4 秒間を飛ばして再生が始まりますが、故障ではありません。
- 番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画リストに戻ります。
- 再生中にできるリモコン操作については、51 ページを参照してください。

3 **再生を停止させるには、** ■ 停止 **を押す**

- 録画リストの画面に戻ります。
- 録画番組の再生を終了するときは、終了 を押すか、または選局の操作などをします。

ご注意

- 電源を入れた直後は USB ハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画リストが開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画リストを開いてください。
- USB ハードディスクに録画した番組は、録画時間が 15 秒未満の場合は再生できません。次回電源を入れたときに、15 秒未満の録画番組は自動的に削除されます。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ（同じ形式のテレビも含む）では再生できません。
- USB ハードディスクに録画した番組を再生中に、本機や USB ハードディスクの電源を切ったり（停電等も含む）、USB ケーブルを抜き差したりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

◆ 続きから再生するーレジューム再生

① **再生する番組を選び、** 決定 **を押す**

前回、再生を途中で停止した場合は、続きから再生されます。

◆ 番組の冒頭から再生するー頭出し再生

① **再生する番組を選び、** メニュー **を押す**

② **「頭出し再生」を選び、** 決定 **を押す**

◆ 録画中の番組を再生するー追っかけ再生

録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

① **録画中の番組を選び、** 決定 **を押す**

◆ 録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内容
▶ 再生	録画番組の再生を開始します。
⏸ 一時停止	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
■ 停止	再生を停止し、録画リストに戻ります。
▶▶ 早送り	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります）
◀◀ 早戻し	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります）
30秒送	再生中に押すと、30 秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ）
30秒戻	再生中に押すと、30 秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ）
⏭ スキップ	再生中に押すと、10 分ほど先に進んで再生します。
⏮ バック	再生中に押すと、10 分ほど戻って再生します。
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。

◆ 録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

① **再生中に 画面表示 を押す**
再生中の番組の情報が表示されます。

② **表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す**

録画した番組を再生する

録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。

＊ 録画中にこの操作はできません。

1 録画リスト を押す

2 ▲▼ で保護する番組を選び、青 を押す
または、メニュー を押して ▲▼ で「保護設定」を選び、▲▼ で「保護する」を選び、決定 を押す

- 選択した番組が保護されます。（【鍵マーク】がつきます）
- 保護されている番組を選び、青 を押すと、「保護解除」をすることができます。

録画した番組を削除する

1 録画リスト を押す

2 赤 を押す
タイトルの左側にチェックボックスが表示されます。ただし、保護されている録画番組には表示されません。保護されている録画番組を消すには、保護を解除してから 赤 を押してください。

3 ▲▼ で削除する番組を選び、決定 を押す
選んだ番組のチェックボックスにチェックマークが付きます。削除するすべての録画番組にチェックマークを付けてください。

4 赤 を押す

5 確認画面で、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

6 削除が終了したら 決定 を押す

◆ 自動的に消す（自動削除設定）

お買い上げ時は、ハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。

1 録画リスト を押す

2 メニュー を押して ▲▼ で「自動削除設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「削除する」または「削除しない」を選び、決定 を押す

お知らせ

録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまで少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は 300 番組までです。

メニュー画面の操作方法

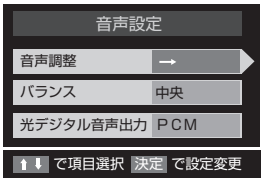
本機の各種設定を変更することができます。

◆ 低音強調の設定をする場合

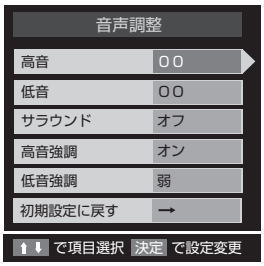
1 **メニュー を押す**
メニュー画面が表示されます。

- **番組説明**
  番組の詳しい説明が表示されます。
  リモコンの 番組説明 を押したときと同じ画面が表示されます。
- **タイマー機能**
  設定について詳しくは、42 ページ、43 ページをご覧ください。
- **画面サイズ切換**
  設定について詳しくは、40 ページをご覧ください。
- **映像設定**
  設定について詳しくは、54 ページをご覧ください。
- **音声設定**
  設定について詳しくは、56 ページをご覧ください。
- **その他の設定**
  さまざまな設定をすることができます。
- **設定**
  設定について詳しくは、57 ページをご覧ください。

2 **▲▼ で「音声設定」を選んで、決定 を押す**
音声設定メニューが表示されます。



3 **▲▼ で「音声調整」を選んで、決定 を押す**



4 **▲▼ で「低音強調」を選んで、決定 を押す**

5 **▲▼ でお好みの設定を選んで、決定 を押す**

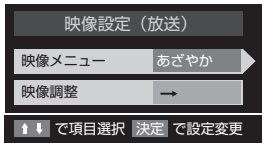
6 **終了 を押す**
メニュー画面が消え、通常の画面に戻ります。

お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻る を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- メニュー画面の最下部に、簡易操作ガイドが表示されます。

映像設定メニュー

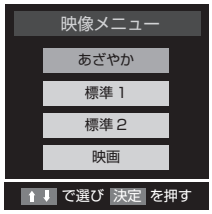
メニュー画面の「映像設定」を選らんで 決定 を押します。



現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の映像を、お好みの画質に調整できます。

映像メニュー

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



- **あざやか**
  日中の明るいリビングで見るときに適した設定です。
- **標準 1**
  落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です。
- **標準 2**
  暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
- **映画**
  暗くした部屋で映画をみるときに適した設定です。

各映像メニューの初期設定は上記となっておりますが、映像調整メニューを使用頂き、明るさ、色の濃さ、色合い等をお好みの設定が出来ます。
その場合は、あざやか：メモリー　標準１：メモリー　標準２：メモリー　映画：メモリー　と表記されます。

映像調整

お好みに合わせて画質調整をすることができます。

調整項目

バックライト、コントラスト、 黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、詳細調整の各設定を選択します。

- **バックライト**
  バックライトの明るさを調整できます。
- **コントラスト**
  設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。

- **黒レベル**
  設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
- **色の濃さ**
  設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
- **色合い**
  設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。
- **シャープネス**
  設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
- **詳細調整**
  映像をより細かく調整します。詳しくは、55ページをご覧ください。
- **初期設定に戻す**
  調整した内容をすべて出荷時の状態に戻します。

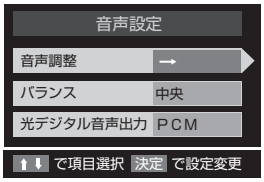
◆ 映像調整：詳細調整

映像をより細かく調整します。

- **ノイズリダクション設定**
  映像のノイズやざらつきを減らします。
  ゲーム映像表示のときや、パソコン画面表示のときは設定できません。以下の設定が選べます。
  「モスキート NR」:
  動きの速い映像のブロックノイズとモスキートノイズを減らせます。「強」「中」「弱」「オフ」から選びます。
  「3D デジタル NR」:
  画面のざらつきノイズやちらつきを減らせます。「オート」「強」「中」「弱」「オフ」から選びます。
- **ダイナミックバックライト制御**
  映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にするかどうかを「オン」「オフ」で選べます。
- **シネマスキャン**
  映画ソフトの持つスムーズな映像の動きと画質を再現するかどうかを「オン」「オフ」で選べます。
- **色温度**
  画面全体の色味を調整します。
  00（暖色）～ 10（寒色）の範囲で設定できます。
- **ダイナミックガンマ**
  映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。
  00（メリハリ弱）～ 10（メリハリ強）の範囲で設定されます。
- **ガンマ調整**
  映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整します。
  − 5（暗い）～ +5（明るい）の範囲で調整できます。
- **2D アパチャー**
  映像の横線の輪郭を強調したり弱めたりします。
  「オート」「強」「中」「弱」「オフ」から選びます。

音声設定メニュー

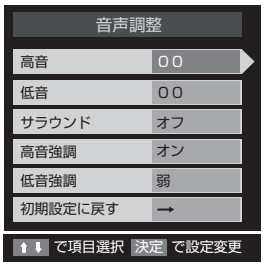
メニュー画面の「音声設定」を選らんで 決定 を押します。



現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI、PC）の音声を、お好みの音質に調整できます。

音声調整

お好みに合わせて音質調整をすることができます。



- **高音**
  設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
- **低音**
  設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
- **サラウンド**
  ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り換えます。
- **高音強調**
  ドラマのセリフや楽器の輪郭を明りょうにして聞きやすくします。「オン」「オフ」で切り換えます。
- **低音強調**
  低音の効果を強くすることができます。
  「強」「弱」「オフ」で切り換えます。
- **初期設定に戻す**
  調整した内容をすべて出荷時の状態に戻します。

ご注意

- ヘッドホンをご利用の場合は、音声調整の設定値は反映されません。

バランス

左右の音声出力のバランスを調整します。
設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。

光デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子から出力する音声信号を設定します。詳しくは、27 ページをご覧ください。

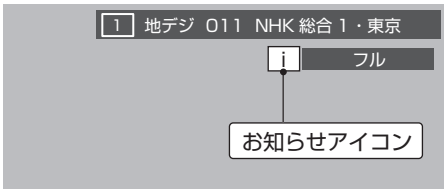
設定メニュー

メニュー画面の「設定」を選らんで (決定) を押します。

設定メニューではお知らせ、機能設定、CEC 設定初期設定を行ないます。

お知らせ

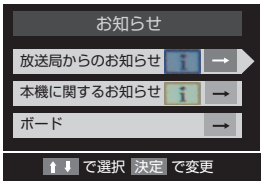
お知らせには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。
未読のお知らせがあると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。



1 **メニュー を押す**

2 **▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押す**

3 **▲▼ で「お知らせ」を選び、(決定) を押す**



4 **▲▼ でお知らせの種類を選び、(決定) を押す**

- 放送局からのお知らせ... デジタル放送局からのお知らせです。
- 本機に関するお知らせ... 予約等について本機が発行したお知らせです。
- ボード..... 110 度 CS デジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

5 **▲▼ で読みたいお知らせを選び、(決定) を押す**

「本機に関するお知らせ」を削除する場合

「本機に関するお知らせ」のみ削除できます。

①「本機に関するお知らせ」の画面で 青 を押す

②◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す
「本機に関するお知らせ」がすべて削除されます。

ご注意

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが 7 通まで記憶され、BS デジタルと 110 度 CS デジタルは、合わせて 24 通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります) 記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は 110 度 CS デジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが 50 通まで表示されます。

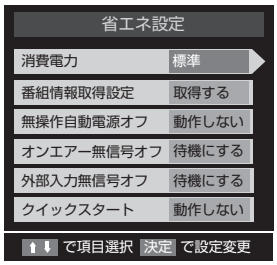
機能設定

機能設定では省エネ設定、視聴制限設定、外部入力設定、画面調整を行ないます。

設定メニュー

◆ 省エネ設定

省エネ設定では消費電力、番組情報取得設定、無操作自動電源オフ、オンエアー無信号オフ、外部入力無信号オフ、クイックスタートの設定を行ないます。



• 消費電力

バックライトの明るさを調整し消費電力をお好みに調整できます。

• 番組情報取得設定

電源待機時に地上デジタル放送の番組情報を自動的に取得するかしないかを選択します。

• 無操作自動電源オフ

テレビの無操作状態が約 3 時間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。

• オンエアー無信号オフ

放送受信時に、無信号状態が約 15 分間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。

• 外部入力無信号オフ

外部入力選択時に、無信号状態が 15 分間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。

• クイックスタート

「待機」状態のときに、リモコンの電源ボタンを押すと「クイックスタート」をするかしないかを選択します。

◆ 視聴制限設定

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号を設定した状態で、以下の設定をする必要があります。

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「視聴制限設定」を選び、決定 を押します。

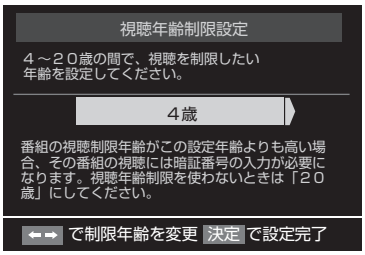
2 ▲▼ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定 を押す

暗証番号の入力画面になります。

3 1〜10/0で暗証番号を入力する

4 ◀▶ で年齢を設定し、決定 を押す

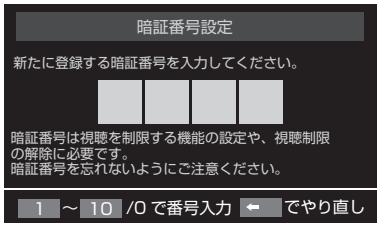
設定できる年齢は、4 歳から 20 歳までです。



暗証番号を設定・変更する

視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す



暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を変更する場合は、すでに設定されている暗証番号を入力してください。

2 **1〜10/0で新しく設定する暗証番号を入力する**

3 **確認のため、新しく設定する暗証番号をもう一度入力する**

4 **決定 を押す**
暗証番号が設定されます。

暗証番号を削除する

1 **「視聴制限設定」画面で「暗証番号削除」を選び、決定 を押す**

2 **1〜10/0 で現在設定されている暗証番号を入力する**
確認画面が表示されます。

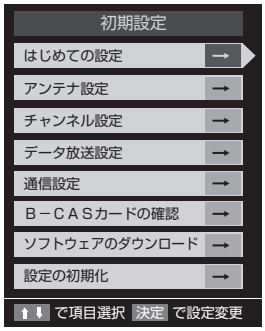
3 **◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す**
暗証番号が削除されます。

◆ 外部入力設定
外部機器を接続する場合に設定します。詳しくは29ページをご覧ください。

◆ 画面調整
画面の位置や幅を調整します。詳しくは40ページをご覧ください。

CEC 設定
HDMI連動設定をします。詳しくは28ページをご覧ください。

初期設定
初期設定メニューに表示される項目は、地上デジタル、PC 入力など、選択している入力モードによって異なります。
入力モードを選んでから メニュー を押してメニューを表示し、▲▼で「 初期設定 」を選択してください。



◆ はじめての設定
引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「はじめての設定」を行ってください。操作手順は19 ページをご覧ください。

◆ アンテナ設定
アンテナの方向調整と設定を行います。詳しくは、33 ページをご覧ください。

◆ チャンネル設定
- **地上デジタル自動設定**
  引越しした場合などこのメニューからチャンネルを設定してください。状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。
  「初期スキャン」を選ぶと現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。購入後初めて設定する場合、違う地域に引っ越した場合は、こちらを選びます。
  「再スキャン」を選びスキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。

設定メニュー

- **手動設定：地上デジタル / BS / 110 度 CS**

  1〜10chに、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。

  以下の画面は「地上デジタル」を選んだときの画面です。

1 **▲▼で変更したいリモコンの数字を選び、決定を押す**

2 **◀▶ でチャンネルを変更し、▼ を押す**

3 **必要に応じて、◀▶ で放送局を変更し、▼ を押す**

4 **◀▶ で「設定完了」を選び、決定 を押す**

- **地デジ難視対策衛星放送**

  地デジ難視対策衛星放送とは、地上デジタル放送が送り届けられない地区にお住まいの方に、テレビ放送を視聴いただけるように、暫定的に衛星放送を利用して地上デジタル放送の番組をご覧いただくものです。

  お買い上げ時、本機は地デジ難視対策衛星放送の視聴や番組表表示ができないようになっています。設定について詳しくは、21 ページをご覧ください。

- **チャンネルスキップ設定**

  チャンネル ∧ ∨ でボタン選局するときに、不要なチャンネルを飛び越すことができます。

1 **▲▼ で設定したい放送の種類を選び、決定 を押す**

2 **▲▼ でスキップ設定を変更したいチャンネルを選び、決定 を押す**

  - 決定を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。
  - デジタル放送の放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を変えるときは、青 を押します。

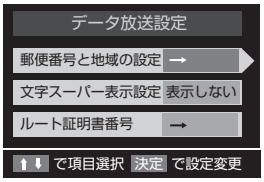
- **初期設定に戻す**

  すべてのチャンネル設定と、「登録されている郵便番号」、「音量」をお買い上げ時の状態に戻します。

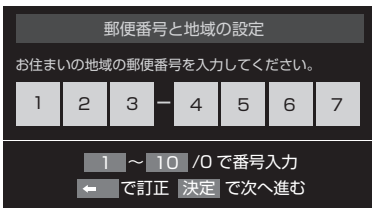
  「初期設定に戻す」を選んで決定を押し、◀▶で「はい」を選び、決定を押します。

◆ データ放送設定

データ放送を見る際の設定を行います。



- **郵便番号と地域の設定**
  お住まいの郵便番号と地域を設定しておくことにより、データ放送で、地域の情報を得ることができます。



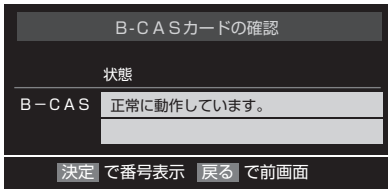
  1～10/0で郵便番号を入力します。「0」は 10/0 で入力します。
  ▲ ▼ ◀ ▶ で地方を選び、決定 を押します。続けて ▲ ▼ ◀ ▶ で地域を選び、決定 を押します。
- **文字スーパー表示設定**
  見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。
  「表示する」「表示しない」が設定できます。
- **ルート証明書番号**
  地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

◆ 通信設定

LAN 端子の接続をした場合に設定します。設定について詳しくは、31 ページをご覧ください。

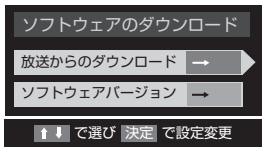
◆ B-CAS カードの確認

本機にセットされている miniB-CAS カードの状態を表示します。決定 を押すと miniB-CAS カードの番号を表示します。

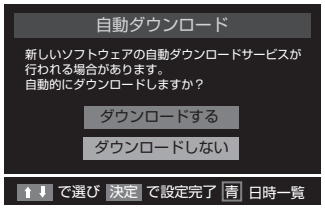


◆ ソフトウェアのダウンロード

ソフトウェア自動更新の設定や、ソフトウェアバージョンを確認できます。



- **放送からのダウンロード**
  本機のソフトウェアを自動的にダウンロードして更新するか設定します。

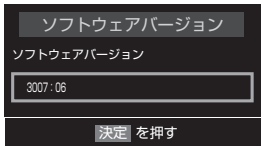


  「自動ダウンロード」を「ダウンロードする」に設定しておくと、新しいソフトウェアが配信された際、自動的にダウンロードと更新が行われます。「ダウンロードしない」に設定している場合は、「設定」→「お知らせ」→「本機に関するお知らせ」に、ソフトウェア配信の日時を知らせるメールが届きます。配信日時までに「ダウンロードする」に設定してください。

ご注意

- 主電源がオフになっていると、ソフトウェアのダウンロードを行えません。コンセントを抜かないようご注意ください。
- アンテナ受信レベルが低い場合、ソフトウェアのダウンロードは行えません。NHK のアンテナレベルが 50 以上になるよう、アンテナを調整してください。

- **ソフトウェアバージョン**
  現在のソフトウェアのバージョンを表示します。



◆ 設定の初期化

- **すべての初期化**
  すべての設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報を消去します。
- **HDD の初期化**
  本機に接続している USB ハードディスクを初期化します。

地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下記のとおりです。（まだ放送を開始していない放送局もあります。）
引越しや新しく放送局が開局されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、地上デジタルモードで初期設定メニューを表示し、「チャンネル設定」の「地上デジタル自動設定」で「地域選択」と「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。

都道府県	チャンネルポジション	放送局
北海道（帯広）	3	NHK総合･帯広
	2	NHK教育･帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道（釧路）	3	NHK総合･釧路
	2	NHK教育･釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道（北見）	3	NHK総合･北見
	2	NHK教育･北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	8	UHB北見
	7	TVH北見
北海道（旭川）	3	NHK総合･旭川
	2	NHK教育･旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道（札幌）	3	NHK総合･札幌
	2	NHK教育･札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
北海道（函館）	3	NHK総合･函館
	2	NHK教育･函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道（室蘭）	3	NHK総合･室蘭
	2	NHK教育･室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
青森	3	NHK総合･青森
	2	NHK教育･青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送
岩手	1	NHK総合･盛岡
	2	NHK教育･盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
宮城	3	NHK総合･仙台
	2	NHK教育･仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合･秋田
	2	NHK教育･秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合･山形
	2	NHK教育･山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合･福島
	2	NHK教育･福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
茨城	1	NHK総合･水戸
	2	NHK教育･東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合･東京
	2	NHK教育･東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合･東京
	2	NHK教育･東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合･東京
	2	NHK教育･東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学

都道府県	チャンネルポジション	放送局
千葉	1	NHK総合･東京
	2	NHK教育･東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
東京	1	NHK総合･東京
	2	NHK教育･東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合･東京
	2	NHK教育･東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	tvk
	12	放送大学
新潟	1	NHK総合･新潟
	2	NHK教育･新潟
	6	BSN
	8	NST
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
富山	3	NHK総合･富山
	2	NHK教育･富山
	1	KNB北日本放送
	8	BBT富山テレビ
	6	チューリップテレビ
石川	1	NHK総合･金沢
	2	NHK教育･金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
福井	1	NHK総合･福井
	2	NHK教育･福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
山梨	1	NHK総合･甲府
	2	NHK教育･甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
長野	1	NHK総合･長野
	2	NHK教育･長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送

地域別チャンネル表

都道府県	チャンネルポジション	放送局
静岡	1	NHK総合·静岡
	2	NHK教育·静岡
	6	SBS
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
岐阜	3	NHK総合·岐阜
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	8	岐阜テレビ
愛知	3	NHK総合·名古屋
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
三重	3	NHK総合·津
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	7	三重テレビ
滋賀	1	NHK総合·大津
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	BBCびわ湖放送
京都	1	NHK総合·京都
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	KBS京都
大阪	1	NHK総合·大阪
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	7	テレビ大阪
兵庫	1	NHK総合·神戸
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	サンテレビ
奈良	1	NHK総合·奈良
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	9	奈良テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
和歌山	1	NHK総合·和歌山
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	テレビ和歌山
鳥取	3	NHK総合·鳥取
	2	NHK教育·鳥取
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
島根	3	NHK総合·松江
	2	NHK教育·松江
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
岡山	1	NHK総合·岡山
	2	NHK教育·岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KBS瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
広島	1	NHK総合·広島
	2	NHK教育·広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
山口	1	NHK総合·山口
	2	NHK教育·山口
	4	KRY山口放送
	3	tysテレビ山口
	5	yab山口朝日
徳島	3	NHK総合·徳島
	2	NHK教育·徳島
	1	四国放送
香川	1	NHK総合·高松
	2	NHK教育·高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
愛媛	1	NHK総合·松山
	2	NHK教育·松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
高知	1	NHK総合·高知
	2	NHK教育·高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	3	NHK総合·福岡
	3	NHK総合·北九州
	2	NHK教育·福岡
	2	NHK教育·北九州
	1	KBC九州朝日放送
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本

都道府県	チャンネルポジション	放送局
佐賀	1	NHK総合·佐賀
	2	NHK教育·佐賀
	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合·長崎
	2	NHK教育·長崎
	3	NBC長崎放送
	8	KTNテレビ長崎
	5	NCC長崎文化放送
	4	NIB長崎国際テレビ
熊本	1	NHK総合·熊本
	2	NHK教育·熊本
	3	RKK熊本放送
	8	TKUテレビ熊本
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
大分	1	NHK総合·大分
	2	NHK教育·大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合·宮崎
	2	NHK教育·宮崎
	6	MRT宮崎放送
	3	UMKテレビ宮崎
鹿児島	3	NHK総合·鹿児島
	2	NHK教育·鹿児島
	1	MBC南日本放送
	8	KTS鹿児島テレビ
	5	KKB鹿児島放送
	4	KYT鹿児島読売TV
沖縄	1	NHK総合·那覇
	2	NHK教育·那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ(OTV)

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下を確認してください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
  液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」いうきしみ音がする
  部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
  本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	• リモコンを受光部に向けていますか？ • お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？ →リモコン受光部に強い光を当てないでください。 • 乾電池が消耗していませんか？ →新しい乾電池に交換してみてください。 • 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？ →正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	• オフタイマーを設定していませんか？ →オフタイマーの設定を確認してください。

故障かな？と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
映像が出ない AV 映像が出ない	• アンテナは正しくつながっていますか？ →アンテナの接続を確認してください。 • 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をしなおしてください。 • 外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。 • 電源は入っていますか？ →電源を入れてください。 • TV モード以外の入力モードになっていませんか？ →TV モードに設定してください。
映像も音声もノイズしか出ない	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナが壊れたり、アンテナ線の断線、方向ズレはありませんか？ →アンテナの修理、方向修正をして下さい。
色じま模様が出る	• 近くのテレビからの妨害電波を受けている可能性があります。 →アンテナの向きや高さを変えてみてください。 • 他の機器からの影響（妨害電波）を受けていませんか？ また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。 →妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。
画像にはん点が出る	• 自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていることがあります。 →アンテナをなるべく道路、線路、ネオンなどから離すようにしてみてください。
映像や音声が出なくなる、または時々出なくなる 映像が静止する、または時々静止する	• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整してください。 • アンテナ線の劣化が考えられます。 • 着雪（アンテナ）、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
映りが悪い	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ • 電波状態が悪いことが考えられます。
色合いが悪い、色が薄い	• 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？

症状	原因や対処のしかた
画面が暗い	• 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をしなおしてください。
映像が不鮮明 映像がゆれる	• テレビの電波が弱い場合が考えられます。 • 電波状態が悪い場合も考えられます。 • アンテナの方向がズレていませんか？ • 屋外アンテナのアンテナ線が外れていませんか？
接続した機器の映像がでない	• 外部機器は正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。 • 入力切換は合っていますか？ →リモコンまたは本体の入力切換ボタンで、入力を切り換えてください。

音声

症状	原因や対処のしかた
音が出ない	• 音量が最小になっていませんか？ •「消音」状態になっていませんか？ • イヤホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	• miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？ • 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？
引越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	•「初期設定」の「地上デジタル自動設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	• お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

故障かな？と思ったら

録画

症状	原因や対処のしかた
USB ハードディスクが認識されない	• 本機に対応した USB ハードディスクですか？ →本機で接続確認済みの機器以外では、使用できないことがあります。対応している機器については、75 ページをご覧ください。 • USB ハードディスクが正しく接続されていますか？ →USB ハードディスクを正しく接続してください（22 ページ）。USB ハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。 • USB ハードディスクが本機に登録されていますか？ →USB ハードディスクを本機に登録してください（22 ページ）。
録画できない	• USB ハードディスクの電源は入っていますか？ →電源オンが必要な USB ハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。 • USB ハードディスクの空き容量が不足していませんか？ →不要な番組を削除するか、「自動削除設定」を「削除する」にしてください（52 ページ）。 • 録画できない映像ではありませんか？ →コピー禁止の番組や、独立データ放送、ラジオ放送番組、外部入力からの映像・音声は録画できません。 • 放送開始時刻が変更されていませんか？ →録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「設定」メニューの「お知らせ」で確認できます
録画した番組が消えた	•「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか？ →「自動削除設定」を「削除しない」に設定してください。または、消したくない番組を選び「保護設定」を「保護する」に設定してください。
録画した番組が再生できない	• 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

エラーメッセージ一覧

代表的なエラーメッセージ表示について説明します。

デジタル放送

メッセージ	原因
「信号が受信できません。 • アンテナの接続をご確認ください。 • 本機のアンテナ設定やアンテナレベルをご確認ください。（青 でアンテナレベルを確認できます。）コード：E202」	• 適合したアンテナでないため。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • アンテナの設定が合っていない。 • アンテナの方向ズレや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。
「このチャンネルはご覧になれません。 コード：E210」	• 部分受信サービスを選局したため。
「電波の受信状態が良くありません。 クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	• 気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。
「現在放送されていません。コード：E203」	• 選局したチャンネルでの放送が休止中。 • 放送が終了している。
「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	• 通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 • ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。
「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	有料の放送事業者のチャンネルを選局した場合など。
「表示するチャンネルがありません。」	番組表で、表示するチャンネルがまったくないため。
「B-CAS カードが正しく挿入されていません。B-CAS カードをご確認ください。」	miniB-CAS カードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。
「B-CAS カードの交換が必要です。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400 または 6581」	miniB-CAS カードが故障している、または交換の必要がある。
「この B-CAS カードはご使用になれません。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。 コード：A104 または A105 または A106 または A107」	miniB-CAS カードが登録されていない。
「この IC カードはご使用になれません。使用可能な B-CAS カードを挿入してください。」	付属の miniB-CAS カード以外のカードを挿入している。
「この IC カードはご使用になれません。使用可能な IC カードを挿入してください。コード：EC01」	この IC カードは無効。
「この B-CAS カードはご使用になれません。コード：A1FF または A102」	使用できない miniB-CAS カードを挿入している。

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因
「B-CAS カードが故障しています。」	miniB-CAS カードが故障している、または交換の必要がある。
「時刻情報を取得できませんでした。」	デジタル放送が受信できないため、時刻情報を自動取得できない。
「この番組には視聴制限があります。」	設定した視聴年齢を超えた番組を選局した。
「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903 または 8503 または 8303」	選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。

LAN 接続

メッセージ	原因
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	サーバーからのダウンロードに失敗したため。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	本機にルート証明書が設定されていない。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	ルート証明書の有効期限が切れている。
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	接続先の証明書が改ざんされている。
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	認証エラーが発生した。
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	本機の通信環境設定が正しく設定されていない。

録画

メッセージ	原因
USB ハードディスクにエラーが発生したため、録画予約を中止しました。	USB ハードディスクに障害が発生して、録画を継続できなかった。
USB ハードディスクの残量がなかったため、録画予約を中止しました。	USB ハードディスクの残量がなくなり、録画を継続できなかった。
USB ハードディスクに録画できる番組数がいっぱいのため、録画予約を実行できませんでした。	USB ハードディスクに録画している番組数が 300 件であったため、録画予約を実行できなかった。
録画予約チャンネルに選局できなかったため、録画予約を実行できませんでした。	録画予約していたチャンネルが放送局の変更により消失したため、録画予約を実行できなかった。
コピー制限により録画できませんでした。	放送された番組がコピー不可（Copy Never）のため、録画できなかった。
番組が放送時間不足のため、予約を実行できませんでした。	録画の開始時間から終了時間までが 30 秒未満だったため、録画予約を実行できなかった。
番組に映像が存在しないため、予約を実行できませんでした。	番組に映像コンポーネントが存在しなかったため、録画できなかった。
下記の番組は、契約判定により録画できませんでした。	予約対象番組が非契約だったため、録画できなかった。
下記の番組は、B-CAS カードのアクセスエラーにより録画できませんでした。	スクランブル放送で miniB-CAS カードが抜去されていたため、録画できなかった。
予約設定した番組が放送されませんでした。または、放送時間が繰り上げられました。	予約した番組が放送されなかった、もしくは放送時間が繰り上げられて、録画予約を実行できなかった。
下記の番組は、受信状態の悪化により録画できませんでした。	受信状態が悪化して放送を受信できなかったため、録画できなかった。
録画予約実行時に停電や電源コードが抜かれたため、予約を取り消しました。	録画予約の開始時間から終了時間までの一部、もしくはすべてで、本体電源がオフとなっていたため、録画できなかった。
他の録画予約が実行中のため、予約を取り消しました。	録画予約が重なったため、録画予約を実行できなかった。
12 時間以上の録画となったため、録画予約を中止しました。	録画の開始時間から 12 時間以上となったため、録画を停止した。
下記の番組は、機器のエラーにより録画できませんでした。	テレビになにかしらの異常が発生し、録画予約を実行できなかった。
ユーザー操作により、録画予約を中止しました。	ユーザー操作によって録画予約を中止した。

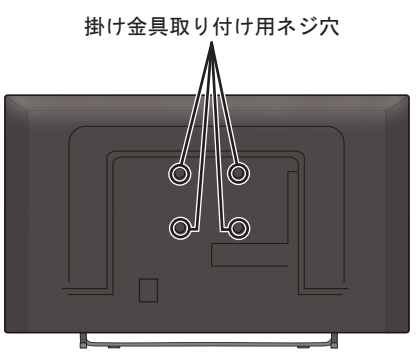
エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因
USB ハードディスクが起動完了、もしくはスピンアップ完了していないため、録画予約を中止しました。	録画開始時に USB ハードディスクが起動しない、もしくはスピンアップしなかったため、録画予約を実行できなかった。

壁掛けでご使用になるとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。
- 専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だったりすると、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。



お知らせ

- VESA 穴寸法、 50 インチは 200mm × 200mm です。40 インチは、 200mm × 100mm です。
- VESA 規格に準じた金具をご購入ください。

ご注意

- 壁掛け金具のネジ穴について

  LCH4005V :

  壁掛け金具のネジ穴は M6 です。

  ネジ穴の深さは、上側 8mm、下側 8mm です。

  LCH5005V :

  壁掛け金具のネジ穴は M6 です。

  ネジ穴の深さは、上側 30mm、下側 8mm です。

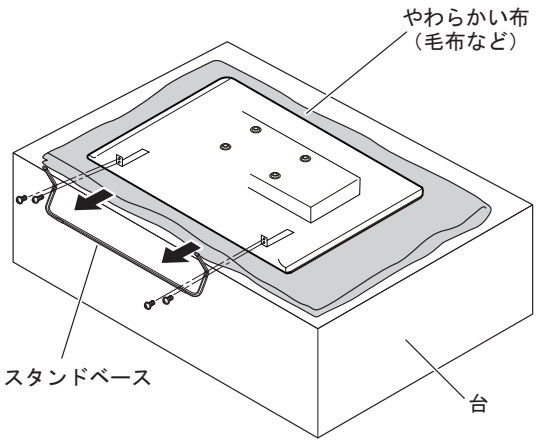
  ご使用になる壁掛け金具の厚さをご確認頂き適したネジをご使用ください。
- 壁掛け金具の本体側固定用に、5 × 8mm 以内の長さのネジは使用しないでください。
- 長いネジをご使用になると内部の部品へダメージを与え製品を損傷します。

スタンドのはずしかた

本機を壁掛けでご使用になるときは、スタンドをはずしてください。

1 テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く

2 スタンドベース部分のネジ（4 箇所）を取りはずし、スタンドベースを手前に引いてはずす



ご注意

- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

主な仕様

◆ テレビ

型名		LCH4005V	LCH5005V
種類		40V 外付け HDD 録画機能対応 デジタルフルハイビジョン液晶テレビ	50V 外付け HDD 録画機能対応 デジタルフルハイビジョン液晶テレビ
液晶パネル	画面サイズ（横×縦）	885.6mm × 498.2mm	1095.8mm × 616.4mm
	駆動方法	TFT アクティブマトリクス	
	画素数（水平×垂直）	1920 × 1080	
	応答速度	8m（G to G）	8.5ms（G to G）
	視野角	左右 178°／上下 178°（標準値）	左右 176°／上下 176°（標準値）
	輝度	300cd / ㎡（最大値）LED バックライト	
	コントラスト比	5000:1	
電源		AC100V 50/60Hz 共有	
定格消費電力量		87.2W	91.8W
待機時消費電力		0.1W	0.1W
年間消費電力量		73.7KWh／年	82.5KWh／年
スピーカー		12 cm × 3.5 cm 2 個	
音声出力		8W + 8W	
受信チャンネル		地上デジタル :UHF(13 ～ 62ch)・CATV パススルー（VHF,UHF）対応 BS デジタル :BS000 ～ BS999、110 度 CS デジタル :CS000 ～ CS999	
入力・出力端子	ビデオ入力 × 1	映像 : 1V(p-p)、75 Ω、負同期 音声 : 500mV(rms)、22k Ω以上（インピーダンス）	
	USB × 1	録画用外付け HDD 用× 1	
	HDMI 入力 × 3	HDMI 対応入力解像度 : 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p	
HDD 録画機能		裏番録画対応（ダブルチューナー）、番組表からの録画予約可能（最大録画予約件数 64）最大録画番組数 300（最大 2TB までの外付け HDD 対応） 日時指定予約機能、自動削除 / 保護機能、放送時間連動機能、 レジューム再生、追っかけ再生、頭出し再生、ワンタッチスキップ機能、HDD 省エネ設定機能	
その他の機能		電子番組表（EPG）対応 : 6 チャンネル 5 時間分表示、8 日分受信、視聴予約可能 双方向データ放送（BML）対応	
使用条件		使用周囲温度 :0℃～ 35℃、使用周囲湿度 :20% ～ 80%（結露のないこと）	
外形寸法	幅	924.4mm	1131.7mm
	高さ(スタンド含む)	604.2mm	710.0mm
	奥行き(スタンド含む)	270.4mm	
質量		9.4 kg	14.7 kg
付属品		スタンドベース、ネジ 4 本、リモコン 1 個、単 4 形乾電池 2 個、miniB-CAS カード 1 枚、取扱説明書 1 部、保証書 1 部	

◆ リモコン（RC-009）

電源	DC 3V（単 4 形乾電池× 2）
質量	92.5 g（乾電池を含まない）
リモコン操作距離	約 7 m（ただし直進）

＊ 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

年間消費電力とは：省エネルギー法に基づいて型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。
このテレビをご使用できるのは、日本国内のみで外国では使用できません。

◆ 対応機器一覧

本機に接続できる外付け USB ハードディスクは以下のとおりです。
各ホームページの情報もご確認ください。

アイ・オー・データ製

HDCL-UTB シリーズ（据え置きタイプ）
http://www.iodata.jp/product/hdd/hdd/hdcl-utb/

HDCL-UT2.0KB

AVHD-AUT シリーズ（据え置きタイプ）
http://www.iodata.jp/product/hdd/hdd/avhd-aut/

AVHD-AUT1.0

HDPC-UTC シリーズ（ポータブルタイプ）
http://www.iodata.jp/product/hdd/portable/hdpc-utc/

HDPC-UT500KC
AVHD-AUT1.0

AVHD-PU シリーズ（据え置きタイプ）
http://www.iodata.jp/product/hdd/portable/avhd-pu/

AVHD-P1.0U

HDUS-UT シリーズ（ポータブルタイプ）
http://www.iodata.jp/product/hdd/portable/hdus-ut/

HDUS-UT1.0K

バッファロー社製

HD-LCU3-C シリーズ（据え置きタイプ）
http://buffalo.jp/product/hdd/external/hd-lcu3c/

HD-LCU3-C

HD-LLU3 シリーズ（据え置きタイプ）
http://buffalo.jp/product/hdd/external/hd-llu3/

HD-LLU3

HD-LCU3 シリーズ（据え置きタイプ）
http://buffalo.jp/product/hdd/external/hd-lcu3/

HD-LCU3

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

◆ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。

◆ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。ユニテクサービスセンターにご連絡ください。

保証期間を過ぎている場合

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはユニテクサービスセンターまでお願いいたします。

重要なお知らせ
テレビの不具合による製品交換、製品修理で録画データが視聴できなくなることがあります。 録画データに関する補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

◆ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です。）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

◆ 個人情報の取扱いについて

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。
本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。
また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。
ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。
本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント
原文（英文）

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox xfsprogs	Exhibit A
glibc gcc	Exhibit B
malloc	Exhibit C

対応ソフトウェアモジュール	
U-boot	GPLv2
ijgjpeg zlib libpng	BML ブラウザ

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright ©1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/ or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; Keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified fi les to carry prominent notices stating that you changed the fi les and the date of any change.
   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, does not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

   In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/ donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version" , you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source fi le to most effectively convey the exclusion of warranty; and each fi le should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple

Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright c 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B, LGPLv2.1

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can re link them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author' s reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.
Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.
When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.
We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user' s freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers less of an advantage over competing non free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the lesser license provides advantages in certain special circumstances.
For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.
In other cases, permission to use a particular library in non free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/ Linux operating system.
Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library" . The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you" .
   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
   The "Library" , below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification" .)
   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library' s complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
      (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
   Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
   This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.
4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections
   1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
   If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library" . Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
   However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library" . The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..
   When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.
   If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

will still fall under Section 6.)
Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer' s own use and reverse engineering for debugging such modifications.
   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library" , as object code and/ or source code, so that the user can modify the Library and then re link to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user' s computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
   For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.
7. You may place library facilities that are a work based on the Library sideby- side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library" , the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
    If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
    It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
    This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version" , you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library' s name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James andom Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That' s all there is to it!

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc / free / realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c

Check before installing!

BMLブラウザ

【BMLブラウザで利用するオープンソース・ソフトウェアの使用条件が記載されたURL】

(a)ijgjpeg	http://www.ijg.org/
(b)zlib	http://www.zlib.net/zlib_license.html
(c)libpng	http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt

【本契約締結時点のでオープンソース・ソフトウェアの使用条件】

<Image Decoder Modules>

(a) ijgjpeg
(b) zlib
(c) libpng

(a) ijgjpeg

ijgjpeg License Terms

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)
So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.
To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

(b) zlib

zlib License Terms

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

(c)libpng

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.18, May 15, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc.
assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
May 15, 2007

その他　ライセンスおよび商標などについて

ACCESS™ NetFront®

HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。
  ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
  ©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。

- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

株式会社 ユニテク

サービスセンター

電　話　（03）5387-1342
営業時間　9:00 ～ 17:00
土日、祝日および年末年始は、お休みとなります